京城日報
夕刊
八月二十五日（土）

野球のお問合せは光化門四〇二番へ願ひます

第五回全鮮野球爭覇戰

力と熱の相搏つところ大會燦として開かる

あすより四日間訓練院原頭で覇を爭ふ十チーム

ルビコンを越えんとする刹那である。さいは既に投ぜられたと叫ぶ瞬間である。運命の瞬間を唯一個のボールにひそめて全鮮から選ばれた十强は悉く京城に集まつた今はたゞ「勝たん哉」の闘の眼を凝らすのみである、あくまで高き新秋の空に白線の尾を長く曳いてボールは縱横に飛ぶ。そのボールを追うて一顆に躍動する若人の熱血、力と意氣の亂舞、わが社主催第五回全鮮野球爭覇戰は、全鮮百萬のボールファンの燃ゆる如き期待をうけてその第一日はいよ〳〵廿六日早朝から訓練院原頭京城運動場に花繪まきの如く展開されるのである

收容人員一萬

會場京城グラウンドは大會委員席、新聞記者席を除くスタンドは全部開放するのでまさに一萬を搶擁しうる大スタンドだから全鮮から集まるボールファンは充分入りうるが過去の例によつてもすでに午前五時頃から未だ開かぬ門前に蝟集する有樣であるからなるべく早く來場せねば入場不可能といふやうな場合となるかも知れぬ

榮光に輝く大旆の下

展開さるゝ大壯觀

天の歡喜、地の亂舞と共に繰擴げらるゝ大繪卷

大會第一日、廿六日は、まづ午前七時半、會場上空に……大自動車行進を見せて乘込むはずである、この頃から會場では京城……が大塚勇之助氏指揮の下に、壯軍樂まる伴奏に、大會々歌が發せられ大合唱隊の妙なる合唱が行はれて、大會氣分漸く高く高く

首途を祝ふ茶話會

とゞろく數發の煙花を合圖に會場正門を開き、開會前より期待したファンは一齊に入場する、一方參加十チームは七時半までに本社に勢揃し、樓上楽寄館における盛觀茶話會にのぞみ、鈴木大會委員長の激勵の辭あり、盛儀ののち各チーム思ひ〳〵のホールの唱和におのゝその首途を祝し武運を祈る。

大自動車列の行進

茶話會終れば、直に本社前廣場を埋めつくした五十臺の自動車に分乘して、南大門通にいで、黃金町通りを經て、

第一日のプログラム

- ◇……壯嚴なる入場式……【午前九時から】
- ◇……大邱對大田……【午前十時から】
- ◇……咸興對新義州……【午後一時から】
- ◇……慶熙對遞信……【午後四時から】

注意

滿員の節は招待券御持參の方でも普通席にお廻りをお願するかも知れません

莊嚴極なき入場式

片づを呑む頃、昨年度選手權保持チーム慶熙俱樂部の……ゝぐる旗にゆらぐ、大優勝旗に導かれて十チームは新たなる白……しきダイアモンドを一巡して、……をゆるがして起こる嵐の如き喝采を浴びながら中央に一巡する、かくて松岡大會々長の開會の辭についで選手の……、鈴木選手主將の優勝旗返還式から、百尹の難……秋の空高く平和の女神とばかりに飛び立てば、いよ〳〵大會の幕は切つて落されるのである

處女球を投下す

恰もよし、この時遙か汝矣島から飛來する二等飛行士……氏の祝賀飛行は會場上空を攻に飛んで本社々旗をつけた處女球を投下し五色の煙幕で大會をいろどるうちに烟火また碧空にとゞろくを序曲として戰ひうづまき熟球とんで、好守猛撃相拮抗する大野球戰がはじまるのである

劈頭相見ゆる南鮮の兩豪

その白熱振りは想像に難からぬ

爭覇戰第一日を飾る試合は何れも好組合はせで全く白熱のさまは想像に難からぬファンの間にはすでにこの時でもちきつてゐる有樣であるが榮光に輝く大會の劈頭を飾るは、大邱と大田の戰である。大邱は鮮の大事を踏んで來征すること數年しかもいまだ本懷を遂げるに至らない、この多年の宿志をついで本年は新に陣容をかへて、高野、大橋、工藤等の古豪を加へその宿志を遂げんとするもの大田は本年初めて大會出場の榮譽をになつた新進ながら、田中主將以下その必勝を誓ひながら武者ふるひに渾身の力を籠けて劈頭戰の勝をその手中に收めんとしてゐるもの、大熱戰は期して待つべきである。大邱の堅陣を大田が碎するか、大邱の敏捷よく大田を破するか、大田の鐵壁の守備よく大邱を封ずるが興味にこゝにかゝつて勝頭からファンの血を躍らせずにはおかないだらう

新進の國境と北鮮の古强者

ファンの前に必勝を誓ふ壯烈なる意氣の戰

劈頭のこの熱戰につゞいて滿場をエキサイトするものは、國境の雄新義州鐵道軍と、北鮮の覇者オール咸興とである。新義州が投手陣を擁して初舞臺の晴れの場所に その戰價を瞻らんとせばオール咸興は、幾たびか涙をのみし過去の雪辱に燃えて、眞紅の大優勝旗を奪はんと、高瀬主將以下早くも廿四日から入城して京城運動場に苦

光榮と宿怨

互に負けられぬ

雌伏一年の遞信軍

雪辱よく成るか

……か、既に……その……を奪取する……ファンの矢面を與へ、何れも負られず、何れも勝たねばならぬこの……ゲームに、勝利は、どれだけ……されることか

……ふ大チームである、……金田……、……比の好調だといつてゐるからベッタメンがことごとくバランスのとれた事のものぞろひだけに、遞信の威力は既然としては一大敵國であらねばならず慶熙また、高……、小杉の大投手陣を擁して……と意氣でゆくチームワーク無比の强チームであり、遞信にはすでに昨年の自信をもつといふからには・遞信としても自軍の限りをつくさればならぬチームである、……の熱狂一齊に湧出となつて……萬留の大拍手に武運を祝福されるものは果して何れぞ、雌伏一年……遞信の雪辱戰になるか。慶熙の……運よく勝つか、眦を決して相見える熱戰のために、觀衆は等しく……もよほさずにはゐられまい、第一日をかざる三大試合は、全く球……といへどもその豫斷を下すことは不可能だらう

第一日のラストは、全鮮の選手權を保持することこゝに四度、しかして遂に五度でその榮譽を贏らんと、血と涙と歡喜とで內地遠征を……その轉戰に決死の闘ひを見せてゐる慶熙俱樂部と、多年の中央に……雄遞信俱樂部との涙をも躍はせる北な大會戰である。しかも昨年の爭覇戰の決勝戰には、遞信と慶熙相對して遞信惜敗したその遞信一戰の兩雄本年は第一日のラストに相見ゆることになつたのである。遞信としては昨年の雪辱であり武……にかぢりついても勝たねばならぬ試合である慶熙としてもまたそう易々と覇をあけわたすわけにはゆかず、過去の光榮の歷史に對しても退りうるを來辱せねばならないのである。慶熙は昨年は新興途上にあつた。然し本年はまさに油の

馮玉祥氏突如

秘密裡に歸北す

蔣氏との間に或種の默契成り

日支問題は電光石火解決か

【南京廿五日發】馮玉祥氏は南京會議以來假病をつかい全體會議にも顏を出さず日々臥床をかへ氣晴々僞に振舞ひ時々公園に出かけて愛僞に噂を賑らしてゐたが遂に昨晩に何人にもしらしめず突然出發北歸した、然もそれが蔣介石氏の歸任をまたなかつたこととかつ現在の微妙な時局に鑑み一部では種々憶測を逞くするものもあるが右につき某消息通は大要左の如く語る

一、馮氏が國民政府に或種の不滿を有することは事實である右は山東問題が形付かめため當然自分の地盤となるべき山東が手に入らず財政上軍事上受くる損失少なからざること

二、馮玉祥氏今回の南下の使命の一は全體會議を監視すると云ふより寧ろ山東問題の解决を促進するにあつたことも事實である

徒は此の目的を達するため山東交涉員蔡公時を招致し王正廷氏厲役良氏等と協議を重ね蔣介石氏をして矢田總領事に其の意思を非公式に通ぜしめたる結果は支當局間の山東問題に關する意見の步み寄りを見るに至り蔣

三、その結果を齎らして彼に成種の滿足を與へたこと

三、その他蔣介石氏は彼れに軍政部長の椅子を與ふる旨を約束した形跡がありその爲めに氏の不滿は幾分緩和され急に北歸することになつたのである

しかして馮氏はこの際一先づ山東濟南に行き山東の現狀を視察した上歸對に關る豫定であると、なほ濟南事件は條約問題、南京事件漢口事件と共に矢田總領事の歸任後同時に電光石火的に解決を見る運命で馮玉祥氏は濟南事件至急解決出來るならその他の外交問題は相當讓步してもよき旨を王正廷氏にいひ含めてある如く聯ち濟南事件交涉開始に當たり日本に撤兵を基本條件とするの件は或る程度まで支那側は强硬な主張を差控えることとなつた形跡があると

各軍首腦の秘策如何？

（1）遞信佐竹主將（2）釜山長田主將（3）慶熙鈴木主將（4）新義州鳥田主將（5）大邱高宮投手（6）大田田中主將（7）平壤成行投手（8）京電長曾我部主將（9）咸興高瀬主將（10）木浦下條主將

支那のことだ油斷は出來ぬ

けさ京城通過東上の野村軍令部次長語る

支那視察を終へた海軍々令部次長野村吉三郎中將は二十五日朝京城通過東上したが途中まで出迎へた記者に對し左の如く語つた

今度の支那行用向きは遣外艦隊の狀況視察で、先づ上海で第一遣外艦隊司令官と會見、狀況を聽取し、漢口まで溯つて揚子江流域の形勢を視察し、次で青島で第二遣外艦隊司令官と會見、北京、奉天を經由したが、現在の支那の時局は別段大した騷ぎもないから、やゝ安定したといへないこともないが、やはり寸刻も油斷出來ぬ、從つて居留民保護のため我が海軍の警備力增加は當分の間現在通りとして置く必要があり、元通りとする時期は今のところ一切未定であると

紡績は配心はない

船津氏語る

なほ野村中將と同車の在支日本紡績聯合會總務理事船津辰一郎氏（前上海總領事）は在支日本紡績界の現狀につき左の如く語つた

支那における紡績力は三百五十萬錘でそのうち日本が百二十五萬錘で上海における百八十九萬錘のうち日本が百萬錘、支那が六十九萬錘、英國が二十萬錘といへば如何に支那における日本の紡績力が優勢であるかが分らうただ憂慮されてゐるのは日貨排斥が口を逐ふて深刻となりつゝあることであるが、それでも紡績は他のものが受ける打擊に比すれば輕微なるものである、それは面白いことには日本側の紡績工場が日貨排斥の餘波をうけて操短する樣なことになれば第一に困るのは支那人職工六萬人とその家族二十萬人だとあつて在支日本紡績界は日に排斥の的から逃れてゐるからである、在支日本紡績界は日に排斥の的から逃れてゐるからである

櫻內氏も脫黨か

民政幹部狼狽

【東京電話】一昨日脫黨を聲明して床次氏と行動を共にしなかつた櫻內幸雄氏はその後再び脫黨の氣配濃厚となりつゝあり或は決行するにはあらずやと見らるゝに至つたため民政黨幹部側は再び狼狽し二十四日午後小泉幹事長、降旗總務の兩氏をして留黨するよう種々勸告するところあつた

號外發行

爭覇戰第一日は日曜で夕刊締切までの成績は勿論夕刊におさめるが、それ以後の成績は普通なら日曜の翌朝は休むのだが、特に號外を發行して刻々の戰況を詳細に報導するはずであるから、ファンは早くして逐一戰蹟がわかるわけである

……從々態度を……するのであるさいが、……工が……業の不利を知るに至つたのと、支那當局が共產黨取締に努めてゐるので、罷業の勃發する心配は少しもないと

內田全權パリに着す

【パリー廿四日發】不戰條約調印のため渡歐した日本全權委員內田康哉伯は二十四日ベルリンより當地に到着した停車場には佛國外務省條約局長フーゲリエー氏が大統領ヅーメルグ氏および外相ブリアン氏の代理として出迎へた

松岡副社長上京の要務

松岡滿鐵副社長の今回上京の要務は東三省の現狀と滿鐵としての對滿方策につき山本社長並に政府當局に報告陳述する外主として滿鐵事業決裁を社長に要求するためであつて近くこれ等も一まづ片づく見込みであるから來週中には歸任するはずである

總督朱安へ

山梨總督は夫人令息同伴二十五日午前九時二十分京城驛發、仁川行汽車で朱安のハゼ釣に行つた、當日は專賣局朱安鹽田の貯水池で終日釣を垂れ午後五時十分着列車で歸城することになつてゐる

＝人＝

◇野村吉三郎中將（海軍々令部次長）廿五日午前九時五十分京城驛通過南行

◇大口喜六氏（大藏政務次官）廿五日午前十時十分發歸省

◇茂上幸三氏（日本車輛製造會社技師）二十四日朝入城奧邊旅館へ

◇高橋愼治氏（全南金組理事長）入院中の處全快二十五日退院歸任

あすの天氣（26）

萬氣壓は滿洲及本邦方面にあつて低氣壓は稍々高いが、北鮮は不安定であり、全部概ね大氣は良いが北部は曇り又は雨が降つてゐる明日は天氣が良いが時々曇る

京城豫報	晴一時曇
氣溫	廿五日 正午 二三・九度
	廿四日 最高 二三・五度

仁川滿潮時（八月廿六日）午前〇時二十五分　午後〇時三十分

オリエントレコード

日本で一番よく賣れる

九月新譜

百萬の歡呼と稱讚を浴びて愈々發賣

◎自然的好評を博せし「モン・パリー」の姉妹篇◎

歌劇 レヴユウ イタリヤーナ　寶塚少女歌劇月組生徒　竹內平吉指揮 寶塚管絃樂團伴奏

說明劇 鳥邊山心中 伍東宏郎

映畫說明 お美代の死 泉詩郎

獨白劇 ベル（鈴） 井上正夫

幻想劇 夜の歡樂境 日活俳優

出征スケッチ 戰の庭へ 總出演

曲馬團小唄 大典 林喜右衛門

田植歌 悠紀齋田 御田植歌 早乙女

萬歲 南山俄日露 砂川捨丸

同 モダーン萬歲 砂川捨丸

俚謠 小原節 安來節 ……

小唄 お座敷唄 ぎおん……

琵琶 本能寺 ……

尺八 月の花 ……

宗敎地藏和讃 ……

落語 ……

浪花節 ……

同 醫者の試驗 ……

同 千姬と坂崎出羽守 ……

同 蹴鞠與五郎東下り 宮川松安

新小唄 浅草の唄 ……

流行小唄 ……

寶塚歌劇 ……

ハーモニカ、ギター ……

映畫說明 オリエント社製　假裝映畫　閩 伍東宏郎

株式會社 日本蓄音器商會 京城府黃金町二丁目

三名の持兇器強盜
質屋二軒を襲ふ
目星はついて居るが
犯人は何れも逃走

二十四日午後十時十分頃府内貸金町四丁目三〇番地質屋小林文三（五二）方裏口より三人の曲者が忍び入るや二人は鉢巻用の目出帽をつけ一人は鳥打帽を被り風呂敷包で顔を隠して同家の主人に短刀を擬し大金を要求したので

驚き 長男一郎に向つて「早く警察へ」といひ放つて奥へ逃げたところ曲者の一人は直にその後を追つてきよを追跡したが一郎はその寸隙に裏口より警察に向つて走つたので、早くもこれを知つた三人の曲者は身の危険を知り遂に目的を果さず同家を逃げ去つた、

急報 に接し本町署では直に現場にかけつけ捜査の活動中大たん不敵にも龍山三名の曲者はそれより府内水下町四三番地質店村上賢生（四〇）方に押入り前記手段で同家の女主人を脅喝し質草貴金屬價格一千二百余圓を強奪して

逃走 した。前後の強盜事件に接した本町署では犯人捜査の大活動を開始し本町署をはじめ京城の警察署は總がかりで一大捜査中であるが三名の犯人は南山公園に向つて逃走した形跡があるので本町署與司法主任以下同署刑事は總がかりで

南山 公園一帯を取り圍んで目下捜査中である、なほ犯人については大體の目星がついて居るものゝ如くである

「二人の犯人は 知つて居る」
初めに襲はれた 小林質店の夫人語る

小林質店の夫人は語る　その夜は十時頃でしたので家は戸をあけて簾をかけていました主人が帳場で新聞を讀んで居りましたし私は奥で子供と西瓜を食べていました。その時三人が入つて來ましたが入るとすぐ戸を閉めて風呂敷で顔を隠し土足のまゝで押入りびつくりして逃げる子供に『子供シンタンシ』と叫ぶ主人に……

短刀を 突きつけました最初私はお客さんだとばかり思つて少しも恐しくはありませんでしたが『シノダンジ』と云ふ聲を聞いて初て強盜だと云ふ事がわかりました、早速子供に警察に知らすやう言つけて私は裏に跳けました、大膽な盜棒で三人のうち

二人は 主人が知つていると言つていました、私も一人は

短刀を突つけ 娘を脅迫
怖しかつた光景を 村上質屋の夫人語る

被害者村上質店を訪問すれば婆女貞子（四〇）さんは未だ落つかぬげに語る

丁度十時半頃でしたまだ宵の口とて表門をあけ主人は隣家の毛利さん（質屋）宅に碁打ちに出かけ私は部屋に赤ン坊を寢かしてゐると、十五才になる娘のみさ子が『お客さんよ』と云つたかと思ふ間もなく『金庫をあけせ……殺すぞ』といふ聲が聞えるので不審に思つて座敷を見ると覆面した二人の男が娘の中に地下足袋のまゝ這入つて

娘を 脅迫してゐましたそして一人は玄關に見張りをしてゐたが皆手ん手に七寸餘りの恐ろしい短刀をぬき放ち、今度は私のところへ來て『金庫はどこか』と尋ねますので『私は開け方を知らぬ』と申しますと『それでは親爺が歸るまで待たう』とぐずぐずし乍らも家捜しを始めました。さうかうするうちにみんな引き上げましたので主人にも知らせ、隣家へ行つて警察へ電話もかけましたが警備が長く出なくつて閉口しました。そのうち主人が歸りますし、調べて見たら金庫の隣の倉庫の口をあけて貴金屬（約千二百圓）を

持ち 去つてゐたことが判つたわけで、それまで私は被害がないと思つてゐました、私の宅には倉庫が東と西の兩側にありますが西側には生憎鍵をかけてゐなかつたのです。犯人の年齡は

主人は 言つていました。こんな事があるので私もほんとに眠れません、もう來ないでせうか」とその大膽さに驚いていた

今明日に 逮捕する
本町署長談

右強盜事件に關し小松本町署長は語る

容疑者はまだ一人も引致してゐないが犯人はほゞ見當がついてゐるので今明日頃迄には逮捕されるだらう、今度の事件があつて感じたことは貸金町をもう少し明るくしなければならぬことだ、支線道路は暗くて歩けないばかりか要心が惡いよ、そして質屋なんかはモット倉庫の構造を嚴重にし、質草を容易に取り出せないやうに責任をもつて保管しなければ駄目である

知つています、二十二日の朝でしたか衣類をもつて質入れに來た男でこの人質帳面にものつている通り林町の金學水です今になつて見ればこの名前も僞名でしようがその次の日だつたでせう、その金學水ともう一人の男が私の家の向ひの朝鮮人の家に來て居りましたが三人のうち二人はその男だと

は五十と四十と、卅四、五歳位の男で、詰襟洋服に地下足袋をはき、二人は黒色の覆面をしてゐました。一人は娘のみさ子（一五）さんは恐ろしさにふるえながら

ピカピカ光る短刀をつきつけて『金庫のあけ方を知つてるだらう』お前が知らなければお母さんが知つてるだらう、なぜ云はぬかッて何處も頭を毆りますのでほんとうに生きた心地はしませんでした、犯人は内地語が上手でした

容疑者 三名檢擧
西大門署で

一方本町署より急報に接した西大門署では龍口司法主任をはじめ刑事の非常召集を行ひ大活動を開始した結果廿五日午前三時頃西小門町および西小門町より府内竹添町三丁目一六九強盜前科二犯李某（二）京畿道廣州郡中部面強盜前科三犯徐宗煥（三）同前科一犯某某（二七）の三名を拉致し身體檢査を行つたところ懐中に短刀の鞘一個を忍ばせてゐたので有力な容疑者として嚴重取調べたが刀身は竹添町ガードの上から落したとのみ答へ犯罪については小さな強盜事件一件を自白したばかりで今のところ水下町の強盜容疑は濃厚であるが龍口が敢日前脱獄した永登浦および始興郡の強盜犯人或はその一味ではないかと目下引續き取調べ中

來征各軍の抱負を聞く

大剛京電に 血戰の意氣
打撃集中の 釜山鐵道

南代表釜山鐵道チームは木浦チームに續いて八時五十分着列車にて大田鐵道軍と同車にて入城、多數の歡呼裡に驛前三重旅館にくつろぎ午後一時半より最後の猛練習を行ひ、これ又元氣旺盛、古岡と□監督、田中氏等は語る

釜山は毎年際どい處でつらい負けかたをしてゐるので今年はどうにかして勝ちたいと思つてゐるが選手も皆その氣概でゐる、だが抽籤とは云ひながら強敵京電と出會したのにはいさゝか驚きました、併し徹頭徹尾元氣をもつて當りませう、釜山は好守に於ては定評があるので今年は打撃に全力を集中した結果、可成り自信を持つてゐます只殘念に思ふのは木下遊撃が折惡しく腰痛が出來たので十分の活動が出來ないことです

準決勝まで 大丈夫
新進揃ひの 新義州軍

西鮮代表新義州チームは廿五日午前七時五分着の列車にて入城本社前

多年の 宿望成る
意氣軒昂の 全木浦軍

廿五日午前七時着列車で意氣天をつく元氣で入城したのは湖南代表木浦チームである、一行は多賀谷

しかし一ッ心配なは不完全なグラウンドで練習をした關係上苦地の球場に於てのコンディションがどうかといふ點である。選手は非常に若く平均廿一歳だから元氣だけは負けぬ、それに抽籤がうまくいつてるから勝頭に成與を調り、さらに木浦を物将にして準決勝に出ではよくば優勝戰にも出られるやうになるかも知れぬ、だが今年はそんな大きなことを望みます、ほんとうの腹は準決勝出場が目標です

丁子屋の園見

大會觀覽券の前賣も頗る好況で特に日のファンの殺到的人氣が期待されており地方からはどしく申込もある盛であるが府内南大門通り丁子屋商店では店員約百名がこぞつて觀覽見物する筈である

今度の大會は 面白からう
けさ京城についた 石井順一氏語る

……氏は朝鮮ホテルに入り本年も批評するはずであるが同氏は語る「たゞの一度のゲームならとにかく、こうした大會などで勝敗を決するものは、第一にバッテリーがよいとか、ヒッティングがよいとかいふのだけでは勝敗は可能で特に秀でたものがなくとも、一體にバランスがとれてゐるといふことが、最も大切です。その點からみて、勝敗を批評するのが、勝も當を得てるでせう、勝敗は相變らず元氣の鬪だし、新らしいゲームが續出してゐるので、今度の大會は大變面白いでせう」

平北警察部長 富永一二氏逝く
きのふ肺結症で

平北警察部長富永一二氏は先月以來腸チフスに罹り療養中であつたが肺炎を併發し更に肺結症となり廿四日午後二時遂に逝去した、享年四十七歳

略歴 長崎縣士族にして山口高等學校から東京帝大の政治科に進み四十三年東大を出て翌四十四年渡鮮、通信書記となり、四十五年通信事務官となつた、その後累進して大正五年平南財務部長となり咸北警察部長から大正十三年に平北に轉じた人である、氏は陸校を出ると直ちに朝鮮に渡り十有八年間朝鮮の官界にあつて一意朝鮮統治に盡瘁した人で特に大正八年の間島討伐平北在勤五ケ年間に於ける匪賊討伐の功績は偉大なものである

國境警備に 偉大な功績
石川警務課長談

現職警察部長で死んだのは富永君が最初である、君は眞面目で小事に拘泥せず豪膽な男で惜むべき人物をなくしたものだ、平北にあること六ケ年、その間多事多忙な國境の治安に盡瘁し、君が平北に赴任した當時は一ケ年一千件からの被害があつたものが本年は匪賊はタッタ一件あつたのみである、この事實は生前における永君の功績を語るものでなくて何であらう、君は酒を愛するが酒を飲むと日頃のらい落な氣象が一層らい落となり頗る愉快な男であつた、友人としても、また國境の治安を司どる警察部長としても誠に惜むべき人物をなくしたと自分は悲んでゐる

三百五十名の 運轉手志願者
道で三日から試驗

京畿道保安課では九月三日から十五日まで自動車運轉手の試驗を行ふが受驗者は實地三百二十四名學科保留二十六名計三百五十名に達し三日から十日間實地試驗學科一日口述試驗二日間で三百五十名の受驗者の集まつたのははじめてゞ保安課では全員を擧げてこれに當ることになつてゐる

御大禮の 記念章牌
九月上旬から頒分開始

今秋の御即位大禮を記念すべく諸商店が、入秋の記念品章牌類を製作してこれが一手頒布所たる三越において豫約募集をしてゐるが既報したが、京城三越におけるその後の模様を聞くに何しろこれ等記念章牌はいづれも目川たき由緒故事を表徴してゐる點かつ当該の優秀なる技術によつて製作されたるものだけに非常なる好評を受け、京城府内は勿論全鮮各地よりの注文非常に多く全店員を擧げて右受付に忙殺されてゐる有様であるしかして豫約注文は三百六十圓の三重金盃をはじめ銀盃三重ね盃、箸箸々に多く殊に喜ばれた旨ゑとして八十圓の銀メダルや二十五錢の記念メダル等の話きは三百點乃至五百點などといふ位の多數注文があるさうだ

これは一流大商店や銀行會社の註文で、いづれも商店なり會社なりが皆その從業員に一齊に大典記念として頒布するものださうであるこれ等は誠に意義ある催しだとおもはれる。これ等の注文に對して京城三越ではこれを五日目ごとに締切つて新興局に註文を發してゐるが、現品もすでに者々出來しつゝあるので、八月十五日までに豫約註文の分は來たる九月上旬より納品を開始するなほ三越では今後引續き豫約募集を續けると共に、より一層廣く頒布を試みたいと意氣込んでゐる

觀世流 素謠會
淺見重壽師の來城

京城觀世流有志はこんど宗家の直門淺見重壽師を招聘してその指導を受けたが來たる廿七日左記次第により同師歡迎素謠會を開催し一般の觀聽を歡迎する由、尚同師は同夜八時京城放送局において安宅（節りより曲勸き切まで）を放送せらるゝにつき會場に受信器をなし該放送を聽しうる樣の準備がある由

▲日時廿七日（月曜日）午後正五時始め▲場所南山町京城ホテル▲番組座次、江口、三井寺へ番外謡等、夜見重壽▲會費金一

ベストを つくす
元氣旺んな 大田鐵道

忠淸代表大田鐵道野球部は二宮監督引率され廿五日午前八時五十分着列車で入城したが一行頗る元氣旺盛、同監督は語る

一戰をいつても今回が最初ですから凶作かさつぱりわかりませんかとに角ベストをつくして戰ふつもりです、無論優勝等は出來ませんが大田にチームが編成されたといふ事を一般ファンに知らせるだけでも充分であらうと思ひます

御多數の出迎へを受けて驛前二見旅館に投じ午後零時より一時まで京城球場において猛練習を行つたが同チームは若手揃ひのとて意氣頗る大の概あり、清川監督並に我チームはまだ遠征をしたことがないので相手の球をどれだけ打ちこなすかが疑問であるが守備の點では萬全を期し得點を許さないだけの自信を有してゐる

つたが同監督は『我々多年の宿望遂に叶ひ、選手一同は何れも必勝を期してます』と仲々の意氣込である、

10—7 大邱快勝
對柳中戰

【大邱電報】慶北代表として本社主催の全鮮野球爭覇戰に出場する大邱東雲團は南鮮湖南の各強豪を蹴き倒した強剛で廿四日柳中倶樂部を迎へ初め柳中軍折い一回に一點二回に三點四回に一點五回に二點と對七點を入れたるに反し邱軍二回に八塲の本塁打に一點を收め第三回邱原の安打と敵失に二點を加へ七對三にて兩軍得點なかりしが俄然第七回に至り邱軍一死満塁の好機に梶原中左間を抜く本塁打に走者を一掃して四點を加へ同點となり九回迄双方入らず十回表邱軍大櫻高宮の安打に續く澤田の三僞一矢の後加勝左翼へ三塁打し三點を加へ結局十對七大邱東雲軍捷つ

邱	京 櫻藤宮塚田井原 梶右大工高八澤小加洪	
大	8 9 2 3 1 4 4 6 5 7	
中	本中木本雨木永田上 川田河松久鈴淸山井	
柳	8 7 5 2 3 6 1 9 4	

11-8 大邱勝つ
對龜峰戰

（大邱）大邱東雲團と慶南龜峰軍との野球戰は二十三日午後四時十五分から大邱先攻、田中（球）森永（龜）兩氏の審判に依り大邱府東雲町公設グランドに於て開催されたがこの日大邱軍は京城遠征前の猛練習に昨年以來始ての健棒を發揮し且つ二瓶投手は若冠ながらよく敵の打撃を封じ安打僅かに四本を許したのみにして十一對八のスコアを以て大邱軍の勝利となり六時三十分閉戰したがバッテリーは大邱二瓶、大櫻、龜峰田宮、小坂松永田中

童話界の 三大家
明日公會堂で講演

鮮内における童話界の傾向が漸次内地各方面にしられると共に内地の權威者相次いで入城しつゝある折柄斯界の權威者久留島武彦、蘆谷蘆村の三氏は日本童話協會の招聘により日本童話協會理事蘆谷蘆村、神戸お噺研究會々長石川滉、笑兩氏が廿五日午前相揃えて入城し廿六日午前九時より公會堂において開催される第十七回全京城コドモ大會に出席の童話講演をなし、また廿七日午後一時よりは母の會主催のもとに高木久呂瓶氏は同氏邸において開催される「母の座談會」に出席し東京少年日本童話連盟委員浅野三氏と共に『家庭における兒童教養の實際的方法』につき意見の發表がある筈で京城でかうした權威者は近來稀らしく期待されておる。因に前記三氏は來る三十日まで滯在し各方面で講演をなす由

大雷雨中に 電車の椿事
重輕傷廿餘名

【府中電報】廿四日午後七時頃京府下府中町附近に約一時間にわたる大雷雨あり京王電車は約四十分停電したが回復直後調布町停留所付近で全速力で瀧谷行電車二輛が衝突し乘客車掌等廿余名が重輕傷を負ふた

湯蔘人

▲未知數の力をもつて成績よく乘込んだ新義州チーム▲何れしろチームらまれて最初の晴れの舞臺にのりだすとあつて見苦しい身成りは禁物▲そこで諸商團體員の商に素敵なユニホームをあつらへた▲サテ乘込みと同時に京城球場のおいて最後の猛練習をすべくだんのユニホームの催促におよぶと諸商さん▲もうしばらく待つて……とある▲しかしそれがなければいかな新義州軍も裸では練習が出來ぬ▲そこで木浦軍に交渉し練習時間を午前と午後に繰かへてもらひ貸與の新調ユニホームでほくくの練習をやつたが▲新らしいのでなければ練習はイヤちやとおつしやる選手達、どこまでも可愛い人々ではある。

會場の準備
直通電話の架設。公衆電話。中繼放送の準備を急ぐ。【けさ京城球場で】

ハドスン馬力で
カツとばせ
ホームラン
請合

日本自動車株式會社京城出張所
京城黄金町四丁目

謹製 造幣局 御大禮記念牌に就て謹告
八月十五日迄に豫約御申込の分は九月上旬より御納入申上ます
―尚引續き豫約募集中・御申越次第カタログ進呈致します―
京城 三越

京城 龍山間 一円均一タクシー
京城驛前 平和自動車部
電話本局一八二五番

時計
中村眼鏡時計店
京城本町一丁目

和洋 かみゆひ生徒
安全な生活の早道
規則書送る
東京市下谷御徒町驛前
下谷御徒町三丁目三十六
公認 東京唯一指定
東京美容女學校

▼ウス物用ゴム製品▼通信用販賣
ゴム製品一色▼各種ルーデサック
▲農工業用指サック◇サモアトックル
◇男子專用具◇其他各製品
鈴木ゴム製作所 製品發賣元
神田區下白壁町五 電話神田三一一九八
振替東京六六五九六

九月一日
愈々咸鏡線全通す!!
京城、會寧間の新紀元を劃す
●直通旅客列車 一日 二往復
京城、會寧間 一往復
京城、清津間 一往復
一新紀元を劃す
咸鏡線全通
沿線の風光
咸鏡南北兩道に亘る本線の沿線は昔懷太陽が加齢、海島の兩開を派して眞馬の勝を印せしめた處で元山から東海岸を辿り會寧まで約三百八十余哩の長きに延びてゐる。沿線は人も知る漁菜の盛んなる處殊に明太魚に名高く、奥地は千古斧を入れざる大森林を控へ、東海岸の風光は風光明媚にして一面殊に天然の寶庫である又朱乙温泉に遊び、會寧から間島に入りて豆滿江洗ひ城の跡を訪ふに於ては我同胞の活躍と隣邦の豊沃なる天産物とは一度は必ず訪ふべき價値がある。
朝鮮總督府鐵道局

今津佛國理學博士發明
最新式 芳香性 便所臭氣止
イマヅ芳香油
大阪市立衛生試驗所の試驗によれば南京虫は三十秒にて完全に死滅す
防臭、殺虫の効力
カンプラ油、片腦油の二倍
【各藥店に有】一瓶四五〇入
●芳香を發し
●臭氣を止め
●ウジを殺す
▲南京虫はカケルと即死す
◎大掃除には、衛生上
便所其他不潔な場所へマカれよ！
イマヅ 殺虫劑 製造元 今津化學研究所
本社 大阪市東淀川區
發賣所 大阪府

文化 夜具入
値下斷行!!
一、蒲團ズック 三枚入 四〇〇
一、茶ズック 四枚入 四五〇
一、麻ズック 五枚入 五〇〇
平素の御愛顧に報ゆる爲當分右の特價に勉強仕り候
鞄と文化夜具入製造
京城本町一丁目三六
高木鞄店
振替京城三十四番
（地方の方は代引にて御送附致ます）

皮膚泌尿花柳病
醫學博士 渡邊晋
京城貸金町入口 日本生命前
診察 十二時半マデ及ビ夕刻

中西テント商會
天幕 雨覆 日覆 製造販賣
京城驛前
振替京城二二〇七番
電話本局

母性愛を通じて 神の愛を感ず

母の愛のみは永久不變

日本女子大學教授　吉江富惠

わがうちに霊魂のみつる時、汝の尊厳わが霊を喜ばせ給ふ（詩九十四篇十九節）千變萬化極まりない此の世に生きて行きます間には私達の心を脅威させる幾多の恐ろしい出來事に遭遇するか知れないのであります。然し何が一番恐ろしくそして恐ろしいと申しましても人の心程恐ろしく、又頼り難いものはありません。昨日までは大ひに愛し愛されて來たその親友は今日は些な事から敵となる。更に恐ろしいものは人心であります兄弟があるとき親戚があると申しましても、人一朝悲境に陥ると厄介をもちかけらるゝを恐れて誰一人近づく者もなくなる。誠に頼み難いものは人心であります。されど母の御愛のみは永久に變らない。子供が悲境に陥れば陥るほどその愛が深くなる。病氣にかゝつて重くなればなるほど心を痛めて神にいのり全快を願はれるのであります。私は一人娘でありましたから母の愛を一人でまんもに受けました。母は私の友であり、姉であり又良き先生でありました。得意の時にも、失意の折にも、よき悲しき時も何事によらず母に打開け、母に感謝の供献を捧げる事が出來ました。母もまた私を可愛がつて、自分のすべての物を犠牲にしてまでも私の教育の爲に盡くして下さいました。私一人を可愛さに父との離別をも思ひ止まりました。そして私を教育する爲にははる／＼東京にお出になり、田舎とは比べ物もない狹苦しい借家に入つて私をしつかりと抱きしめては泣いてをられたあのおとなしい、そして神々しい母の面影（眠れる夜の間もわが身を離れず目さめて後にも行動を守る）その後幾多の月日は過ぎて私が嫁ぎ出ました時の母の喜ばしいお姿今もなほあり／＼と見えるのであります。母の御存命中は私もひとかど何といはれ何と批評せられ様と、笑ふて受けることが出來ました。それは皆母の愛によつてゞありました。私もまだ力の限りをつくして母を安心させてあげたいとそればかりを願つておりました然れどあゝ然れど今は……私は母の御ましゝ時の事どもを思ひ出してなかぬ日ではありません。さればこのうるはしい母の愛を通じて私は父神の愛を感ぜずには居られないのであります。

神よ恵みをおもひ見れば母君はぬばかりに悩しきかな、まよへる時には道を示し悩れる時にははむらを給ふ、この身にあまれるみいつくしみ幼き時よりいや稔り溢れるみ恵みをばこの世に限り給ひけん。

家庭常識　洋服の智識（9）

向上會館　遠藤生

白いものは、よごれも早いかわりに洗濯さへ上手に致しますればいつも新しいものゝやうに、すが／＼しい美しさを保つ事が出來て氣持ちのよいものでございます。洗濯物を、たつぷりと、熱水にひたしまして、一晩位よく漬りのつきました所で、それを洗濯板か、手で揉み洗ひを致しまして表面のよごれを洗ひ落し、絞れるだけ固く絞りまして、洗濯液の中に浸ます。

この洗濯液は、洋服一着分に對しまして上等の粉末石鹸を普通湯呑茶碗に半分と二錢銅貨位のかたまりの洗濯曹達一個とを一升五合ほどの熱湯にといて作ります。粉末石鹸は黄色味の薄い、いやなにほひのしないものがよろしいのでございます。石鹸の良否は洗濯の仕上げの上におきましても非常に影響致します。ラックス、マルセーユ石鹸、白絹石鹸などでありますれば品質は申分ございません。ラックスは輸入品でございますけれども上等の毛織物の洗濯にはなくてはならぬ品でございます。水洗ひした白服を充分洗濯液にひたしましてもみ洗ひを致します洗へましたらまた別に洗濯液を作りそれを石油か醤油樽の大洗面器に入れて沸騰させた液の中にその白服を浸します

洗濯物を丈夫な竹か木の箸でかきまわしながら沸騰液中で十分間煮ましたら服だけを引上げまして固く絞り殘つた洗濯液は、おろして冷しておきます。

盥の上に洗濯板を裏返しにのせてその上に今の服をのせ特によごれのひどい部分をブラシに洗濯液をふくませてさつさつとこすつて洗ひます。ブラシは棕梠の子だわしの新しいの位の固さのものがよいようでございます。ブラシがすみましたら殘つた洗濯液をたらひにあけて全體をもう一度もみ洗ひ致します。先の固さ盥にあると出來ない時は沸騰した洗濯液をかけて十分間ほど蓋をして流しておきます。以上で大抵は奇麗になりました。全部を漂白する時は漂白液中に十分以上三時間位ひたしておきます。漂白劑はホワイト・ローズを湯呑茶碗に一杯を二升の水にとくのでございます。漂白劑の臭ひが拔けるまで、水を取り替て濯ぎ濯後にすぎれにベレンス液（青味付）を少々落してよくまぜ洗濯物を通して絞ります。この際もんで、いけません。青味付のベレンスは藥店にありますから五錢ほど購めまして一合の水にどかし瓶に入れてたくはへて必要の時に用ひます。一斗の水にその溶液四五滴が適度でございます。」

洗濯が濟んだらノリ付をして干します。乾きましてからアイロンをかけます。ノリは湯呑茶碗半分の銀杏粉をよく水に溶きまして、熱湯二合で葛湯のやうに透明にしてコシて使ひます（をわり）

脚氣とチブス　秋に殖える

◇……病氣は總て氣節によつてははやる時とはやらない時とがある。それは普通の傳染病ばかりでなくすべての病氣がそこである。そこで夏の末から秋へかけてはどんな病氣がはやるかを調べると傳染病としては腸チブスにかゝる事が多くなり、次ぎには脚氣といふ順になる。尤もこれは、一つの病氣としての一年中における増減であつて、他の病氣と比較しての事ではない。

◇……即も腸チブスの流行期と衰弱の衰へる季節とを示すと次ぎの順になる。腸チブスは春先には少くなつて四月には四五五、九月から十月へ懸てが最も多く二八一六といふ數である。脚氣の方は二、三月頃はせい／＼五一九位の數字が示されてゐるが、九月から十月へかけて二三〇〇といふ澤山の患者數である。かやうに腸チブスと脚氣とが秋になつて殖える病氣であるが、その原因はどこにあるか分らないけれども特に脚氣は暑のそれよりも秋のものは危險が多いといはれる程である。

◇……なほ秋の頃に減少する病氣は腸膜炎で八月の頃には六千餘であつたものが半分位に下り赤痢は五月に二千餘を示したものが十月には二百餘、百日咳は七月に一千におよんだものが、十一月には二百餘に下る、なほ肺炎および氣管枝炎は多分には二萬餘であつたのが八九月には四千餘に下るけれども、これは少い數とはいへない數のものである。それは脚氣や腸チブスの罹病數の傾斜もあるには驚かざるを得ない。（文部省衛生課調）

JODK（京城放送局）

八月廿六日（日曜日）

午前九、〇〇　全鮮野球爭覇戰實況中繼放送
同九、〇〇　選手入場式開會式
同一〇、〇〇　大邱對太田
午後〇、三〇　氣象概況ニュース
同一、〇〇　咸興對新義州
同四、〇〇　慶熙對遞信
同六、三〇　童話『猫の朋』　東京　堀　榮男
同七、〇〇　講演『少年團教育のお話』　少年團日本聯盟參事　細田浩三
一、吾輩樂種　大阪　芝園
同八、三〇　ニュース
同八、四五　歌曲
小唄と芝居『雛子の夕』
大阪　唄　堀　小滿勝
三味　堀　小今
小鼓　望月太喜之助
大皮　同　喜之助
太鼓　同　喜藏
笛　同　太郎
鍾谷　高田　柳正
鍾谷　臨水
男唱　金　德鉉
女唱　金　僖紅
短簫　金　有善
玄琴　趙　鍾淳
揚琴　金　相淳
長鼓　金　一宇
同九、三〇　時報、天氣豫報、翌日プログラム發表

近日掲載　夕刊一面連載

妖鬼流血録

作□長谷川伸　畫□伊藤幾久造

夕刊第一面に大衆作家の傑作を連載するは近代大新聞の一般風潮である。本紙はこゝに鑑みるところあり、かねて種々なる大衆作品を連載し來つたが、漸くその連載の杜切れたはる、新作中の新作、傑作中の傑作を物色して一新生面を開かんと苦心せる結果であつた。本社はこれがため多大の犠牲を拂ひ、長谷川、木村兩氏に右大作の執筆並に挿畫の揮毫を乞ひ得たるを幸福に思ふ。右はいよ／＼近日中より連載することゝなつたが、作家が作家、畫家が畫家たるだけ、嘸々相俟つて讀者諸君の御滿足をうることを確信してゐます。

×　×　×　×　×

作者長谷川伸氏は、大衆作家中の白眉で、最も異色あり、かつ最も將來ある作家の一人たることは、その作風、作品について余りに知れわたつた事實である。木村哲二氏は、長谷川氏の高弟で、さきに雜誌『大衆文藝』に力作『春宵刑子時雨』を發表するや、一躍斯界の新人として大いに名聲を博し、『サンデー毎日』の懸賞大衆小説にも一等に推された。氏はすでに一流作家としてあるべき人ながら、不幸病弱のため不遇のうちにあつたが、近時小康をうると共に、こゝに長谷川氏と共に想を練り、筆を新たにして、兩氏合作の一大力作を發表することゝなつたのである。

挿繪執筆者伊藤幾久造畫伯は、斯界の新人として、岩田專太郎、小田富彌畫伯等と並稱せられ、かつて『東京日々』の國枝史郎氏作『劍俠愛慾』の挿繪は、當時斯界にセンセイションを捲き起した名畫であつて、今回本社のために特に快心の腕を振はるゝのである。

新映畫

マキノプロダクション御室撮影所作品

「旗本五人男」

監督　吉野二郎
技師　松浦しげる

―キャスト―

比村大吉……小金井勝
坐光寺源三郎……澤田敬之助
大河内曾兵衛……河津清三郎
櫛井甚兵衛……松本時之助
松平帶刀……阪東三右衛門
愛妾お銀……住ノ江田鶴子
おこよ……岡島艶子
猪飼五郎太夫……尾上延三郎

梗概　それは……江戸文化が高調された明和三年の事である。その頃座長寺源三郎、大河内曾兵衛、櫛井甚兵衛、比村大吉、猪飼五郎太夫とて市民より旗下五人男と呼ばれる侍があつた、大阪の陣を最後として世は全く平和がつゞいた、武家生活の倦怠から、彼等は若い血潮に限りない無聊を感じて居た、かゝる時、彼等の多血をいやが上にも緊張さす怪事件が勃發した――それは左の乳下に赤い輪を殘さず不可解な殺人であつた――そして親友、櫛井甚兵衛がその魔手にたほれてからは彼等の復讎的探索が一層鋭を加へて來た時、それが同じ旗本にて、神鬼組と呼ばれる松平帶刀である事が知れた、こうした内にもその年の秋もふけゆく頃深川の中村座は女歌舞伎、中村女之助に絶大な世評をあほつて居た。或る日の事、東西の兩組に……神鬼組と五人男が遊蕩陶醉を合した、櫛井甚兵衛の仇と叫ぶと五人男の追跡は一隊に神鬼組の秘密へ斬り込んだ、劇場内は忽ち修羅の巷―無慘、血汐―白刃飛んで鋭蛇走る（當興は五人男）

おはなし　王子たちと林檎の話　下

比野りうほ作

かやうにして六人の王子はみんな悪魔を叩きのめして山によぢのぼつてゆきました、そして第七の王子の來た時には悪魔はすつかり弱らけになつて倒れてをりましたが、王子は、まづ自分の衣物を裂いて手足の傷に繃帶してやり、話かけて手と悪魔はうーんと一聲呻りましたが、やがて、「あゝありがたうございます。……悪魔さへも恨まぬあなたにはきつと幸福が惠まれるに相違ありません、そしてあなたも林檎を取にいらしたのでございますか」苦しい聲で聞きましたので、第七の王子は本の隣を話しました。すると悪魔は起ち直つて冠を取起して「あゝそれはあなたではいけません。あのリンゴは私の手で取らなければすぐに腐れてしまひます。私が取つて參りませう」

といつたかと思ふと悪魔は一さんに山をよぢのぼつて行きました

×

さて第一の王子は頂上まで登つて見ますと成程リンゴの木があつて美しい實がどつさりなつてをります。そこでその中から一番美しいやうなのをえらび取つて、喜びへて來た風呂敷につゝんで、勇んで山をかけ下りました。かやうにしておの／＼六人の王子は美しいリンゴを持つて歸つてまゐりました。そして第七の王子を待つてゐると一緒に揃れて歸つてまゐりました。

そこで七人の王子達はおの／＼りんごの包を大事に抱て王さまの前に出ました。王さまは「御苦勞であつた。さて第一番の王子のりんごから拝見におよぼう」と申されましたので、第一の王子は包をといてうやく／＼しくりんごをさゝげました。するとあゝ不思議、あれ程美しくつやくしていたりんごがくちや／＼にくされてゐるではありませんか。王子はあつと驚いて、一さんに逃げ出してしまひました。續いて第二の王子が進み出て、りんごをお目にかけました。いよ／＼不思議です。これもくされてをりました。第三第四――第六の王子のもみんなくさつて居たのですそこで王宮に居たまらず皆逃げ出しました。最後に第七の王子が包を捧げて進み出た時、包は自然と解けて世にも珍しい林檎が現れました。それはつや／＼と美しく輝いて居るが不思議な匂ひを持つて居るのでありました。

王さまはたとへやうもなく喜ばれました。第七の王子が世つぎに選ばれたのは勿論であります。美しい王姫さまを皇后さまとして盛んな御式が行はれたのはその翌日か後の事でありました。（完）

茄子料理三種

茄子の鴫焼

▲材料――若茄子十個、胡麻油少量、甘味噌四十匁、赤砂糖スープ匙二杯、煮出汁一合、玉子黄身一個分

▲準備――極若い茄子の皮をむき竪二つ割とし、串にさして置き、味噌は擂して砂糖、煮出汁を入れて火にかけ、練りつめ、火からおろして卵黄を入れ、手早く掻きまぜ、練味噌を作つて置きます

▲調理――茄子に一度煮沸した胡麻油を刷毛で塗り、火にかけて焦かざぬやう軟くするまで焼き切り口の方に前の練味噌を厚目に平に塗りつけ、再び火にかけざつと乾して串を拔き、皿に盛ります

茄子の揚出し

▲材料――極若い茄子十五個、生姜十匁、鰹節二匁、醤油五勺、胡麻油二合、味の素少量

▲準備――茄子を竪に十文字に皮をむき、二つ割として置き、生姜はすりおろして布巾に包み、汁を絞つて醤油、味の素と混合せ、生姜醤油を作つて置き、鰹節は極薄く削り、花鰹を作つて置きます

▲調理――揚げ鍋に胡麻油を入れて充分に熱した時、茄子を入れて焦げ色の出ない中に西洋紙の上に取り出して油をきり器に盛り、生姜醤油をかけ、花鰹を振りかけて、温いうちに頂くのであります

茄子胡麻和へ

▲材料――茄子百五十匁、黒胡麻五勺、砂糖スープ匙一杯、醤油三勺

▲準備――茄子の皮をむき、竪に二つ割として輕く茹で、布片に包み輕く壓して短冊形に切つて置きます

▲調理――胡麻を煎つてすりつぶし、砂糖、醤油味の素で味をつけ、茄子を入れて和へます

京城　本ビル二階　子供屋
夏物、ハーモニカ、樂譜
子供用品百貨

將棋新手合（五）

於東京市日本橋區蠣殻町一ノ四　溝呂木將棋所

香落
△五段　山北孫三郎（東京）
▲三段　志澤彌吉（東京）
（圖は前號指了の局面）

▲志澤氏

持駒　△山北氏　桂香歩歩
　　　▲志澤氏　角銀歩

△一四飛▲四四飛△同飛▲同角△四九飛▲三三角成△八四香▲六八金△三六と▲一二飛△四六と▲三四角△四二歩▲同馬△同金▲同飛成（以下次號）

溝呂木七段講評

（下手）四四飛と飛出して、交換を挑むのは豫定行動であるが、良い手である。
（上手）四九飛打ちは、駒得をする意味である、が此處は、八二玉とよつて置く方が優つてゐる
（下手）六八金とよる手は隱かである。此處で七七馬と引いて次に八六歩と突き出す手もある。
（上手）四六とは悪い手である、此際は四二歩と一旦は受けて置く處である。
（下手）三四角と打つて、敵玉營を出たのは敵陣の攻めせではあるが、強い手である。
（下手）四二角は豫定の攻め手である。

大邱辯護士案内（イロハ順）

辯護士　朴海克　大邱府京町二丁目八五番地　電話長一〇三二番
前大邱覆審法院判事　辯護士　李愚益　大邱府西千代田町二五　電話一三二二番
前大邱地方法院判事　辯護士　李晶燦　大邱府西町三〇番地　電話長一二九九番
辯護士　韓奎鏞　大邱府南城町六六番地　電話長八七一番
從六位　辯護士　咸升鎬　大邱府南町一三六番地　電話一〇二九番
辯護士　洪就植　大邱府南龍岡町二三番地　電話一二六三番
辯理士　辯護士　洪鍾律　大邱府京町二丁目四三番地　電話一〇八四番
從五位勳六等　辯護士　崔浩善　大邱府京町一丁目四一番地　電話一三〇二番
辯護士　姜仁中　大邱府京町一丁目　電話七三二番
辯護士　金訓采　大邱府東千代田町一一番地　電話長五六四番
辯護士　金宣均　大邱府京町一丁目二六番地　電話長五六七番

驚クベキ産卵ト育雛成績
Ⓣ印　粉末完全配合飼料
（通稱タイムス配合飼料）
東洋畜産興業株式會社
京城府蓬萊町三丁目二十七
電話本局一二七

忠實な胃腸の掃除役
ホシチャーコール錠
ホシチャーコール錠は全國の特約店にあり
東京・大阪
星製藥株式會社

世界の小麥

(完)

アルゼンチン政府は去月三日中に一九二八―二九年度の同國小麥植付反別豫想を發表する收穫豫想は十二月にならぬと發表されない。世界の主要小麥生産國たるアメリカ及びカナダが本年、豐作を見越されてゐる折柄アルゼンチンがどう云ふ形勢にあるかを考へるのも強ち興味のない事ではあるまい。この機會にアルゼンチンの小麥について極く概括的な解説を試みて見やう

◇

先づアルゼンチンの小麥はどの位とれるかと云ふに勿論年によつて相違はあるが約二億ブッシェル、メートル、トンに換算して約六百萬トンと云ふ所である生産高から云ふとアメリカ、カナダ、ロシア等に遙かに及ばすフランスやイタリー以下の事もあるが、輸出高と云ふ點から云ふとカナダ、アメリカに次いで世界第三位である。アルゼンチンと我が國とは距離が遠いから其の關係は我が國には直接關係はない樣であるが、ヨーロッパにとつては仲々密接な關係がある。アルゼンチンは一名歐洲の穀倉と云はれる程であり、從つてその小麥の豐凶はヨーロッパの食糧問題に甚大なる影響あるのみでなく、ひいては小麥の相場を世界的に左右することゝなる。」

次に植付面積を見るに平均二千萬エーカー弱である。これはアメリカの約六千萬エーカーには及ぶべくもないがカナダの約二千萬エーカー強と比べると相距る事餘り遠くない。反別が略ぼ等しくしてアルゼンチンの收穫高がカナダの約半分だと云ふのはアルゼンチンがカナダに比べ氣候、耕作法、勞働、交通等に於て大きなハンデイキヤツプのある事を示すものである。

旱魃に直面して植桑奬勵に努む

旱害防止一方策

本府農務課關係では全鮮一帶の大旱魃に鑑し桑のみは他の畑作に比し割合に旱魃の程度が少く、豫想通りの收穫がある關係なので、旱魃對策の一つとして植桑の大奬勵をなすべく目下計畫中である。朝鮮の旱魃は三、四年目毎に必ず周期的に來るが、その都度今度の如く旱魃だと大騷ぎしてゐるやうでは全く仕方がなく、水田にあつては水利組合等により水利の施設を漸く設けることになつてゐるが、一方畑作に對しては何等施設がないので農務課では從來植物は割合に旱魃にも堪へうる所から旱害防止の一手段として植桑の奬勵をなし、蠶繭百萬石計畫の一助たらしめんとしてゐる

日銀券增發

廿四日に發表された日銀券發行高は十二億四千五百九十二萬三千余圓で前週に比し一億六千二百七十三萬六千余圓と前月に比較して二千八百卅三萬二千余圓の增加を示しこれがため保證準備發行六千三百十八萬六千余圓と前日より二千八百三十三萬二千圓を增し、輸出高も七億八千六百二十六萬七千圓と前日より二十三萬余圓の增加を示した。これは主として月末關係で殊に今月は國庫整理資金の關係もあつてかく增發を示したものと觀測される

正金建値引上

一ポイント方

【東京電報】正金銀行は二十五日更に對外爲替相場を改訂し、英米とも一ポイン方引上げて對米四十五弗八分の一對英一志十片十六分の五と變更した

不良化防止

保險會社の認可制を考究

最近保險會社の破綻を選擇するもの多く、その多くは資產運用方法を誤つてゐるのに鑑み、商工省では目下資產の運用、投資について監督の嚴重を期することゝなり、[illegible]

新義州貿易

七月中新義州對外貿易額は輸出九十四萬六千四百五十七圓、輸入二百九十四萬二千六百四圓計三百八十八萬九千六十一圓にして、[illegible]

旱害救濟方法

と水利の效果

[illegible]

振替貯金增加

七月中の全鮮振替貯金の實況は受入口數九千九百十九口、金額四百六十八萬四千七百廿二圓で、拂出は口數七千七百七十口、金額六百十九萬五千八百卅圓で、前年同月に比し受入に於ては口數が一分增加し、金額は一割六分の增、拂出しは口數一割二分金額は八分の增加である

粟輸入減少

八月中朝滿粟の鮮內輸入は八十七車二千六百十トンで前年に比し二千七百トンの減少で、八月一日以降二十三日までの數量は三百六十九車、八千七十トンで、前年に比し約三千トンの減少を示した

生糸の回復顯著

當業者漸く樂觀す

優良糸の需要旺盛

田中技師談

京城勞銀保合

租稅收入激減

不景氣の祟り

織工品展覽會

咸南道で

小包出入狀況

國有林拂下

鮮魚軟調

海外砂糖市況

大阪市中外棉

綿布壓り

株式受渡

海外經濟電報

暴落

保合ひ狀態

穩落

不安一掃 前途は樂觀

多少動いても未だ保合圏内

代引變化少し

商內は活況

阪地の高値で手堅く保合ふ

荒れと利喰で大混戰狀態

人氣買過の影響

群山筋よく賣

正米は荒れ高

十一限 格付の發表

政府の持米は却て上材料か

期米 仁川海岸町 電話 一六〇 三五七 [illegible] 取引店

大豆後場出來不申

正米

京城正米

仁川正米續騰

仁川穀物出入 (廿五日)

各地の天氣

本日の出來値

株式 古川株式仲買店 [illegible]

薩摩義士傳 (157)

中村兵衞 作
紳保朋世 畫

毒舌を弄す

桑名城下の名張屋太助方へ、日野光五郎を訪問した擬收所下は與力の辯舌を揮つて現代官木次郎九郎を誣告した。

『まことに殘念でござる。何せによりてすでに拙者は公用の職事萬端を片附け旅の用意までとゝのへましたるを唯一人の諸情によつて出立致す事が出來なくなり申した。この上は拙者に一つの覺悟がござる。然しながら一應は、貴殿に申上げての上、決心致しまする』

意味ありげにいつて、そして微笑をもらすものゝ如く、あとは沈默してしまつた。

京城日報

南光社編輯部編

准教員 正教員 檢定受験参考 實業科大全

小學校教員檢定試驗各科の問題を分類して、出題の範圍及びその程度を考へ、解答の形式を示したものである。從つて最も困難と目されてゐる實業科の問題の程度と解答の要領を會得することが出來る。遍かに求めて試驗の準備をなし以つて目出度榮冠を贏ち得られよ

新菊判三百二十頁 上製美本 ◎定價金壹圓八十錢 ◎送料金十八錢

- ●准教員 正教員 檢定受験参考 國語科大全　定價壹圓六拾錢 送料十八錢
- ●准教員 正教員 檢定受験参考 修身科大全　定價壹圓六拾錢 送料十八錢
- ●准教員 正教員 檢定受験参考 教育大全　定價壹圓七拾錢 送料十八錢
- ●全國 小學校 正教員 專科 裁縫科 檢定試驗問題 模範解答　定價金貳圓 送料十八錢
- ●准教員 正教員 受驗講義大全　定價金參圓 送料二十四錢

◆發行所　東京市神田區表神保町二番地 振替口座東京五七五五七番　南光社

科學畫報 九月特輯

星のロマンス號

- 月面に殘る謎の諸問題　小川清彦
- ピラミットは天文台か　一戸直藏
- 火星再び地球に近づく　中村要
- 天体としての地球
  - (1)宇宙に於ける地球の位置　山本一清
  - (2)月から見た地球　小川清彦
  - (3)地球終滅の時　石井重美
- 北極探検の根據地スピッツベルゲン　佐々木彦一郎
- 左利と右利の問題　高田義一郎

世界最新科學ニュース

- ▼立體蓄音機發明
- ▼發聲映畫・流行
- ▼動物言葉・研究
- ▼活動寫眞・電送
- ▼地震豫知・曙光
- ▼生者のマスク
- ▼氷の新代用品
- ▼褐炭から瓦斯
- ▼輕氣爲・新發見

定價金八十錢 送料金三錢

東京市神田區錦町一ノ一九 科學畫報社 振替東京三三九九六番

プリミヤ自動自轉車

（理想的小型モーター）

株式會社 丸石商會京城支店　京城黄金町一丁目

理研ヴィタミンA

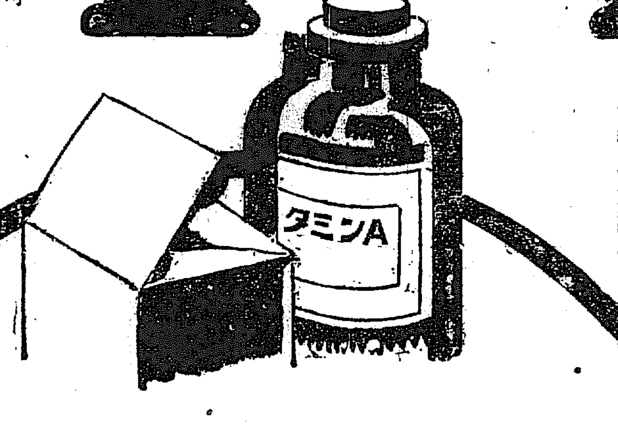
唯一の榮養劑

世界十一ケ國政府特許
帝國學士院 日本化學會 賞受領
財團法人 理化學研究所創製

理研ヴィタミンAはヴィタミンA劑中最も純粹な製品でありまして、人體に缺く事の出來ぬ榮養素であります。

理研ヴィタミンAを常用すれば新陳代謝を促進し抵抗力を養ひ生活力を旺盛に致しますから健康を保持し、種々な病氣を豫防する事が出來ます。

病者は理研ヴィタミンAを醫藥と併用して、榮養の補給を充分ならしめば、自然病勢の昂進を止め病氣の回復は速かになります。



定價	
四十粒入	金一圓
百粒入	金五圓
五百粒入	金二拾二圓
千粒入	金四拾三圓

肺結核　榮養不良
性來虛弱　神經衰弱
腺病質　病後衰弱
産前産後　一般乳兒
夜盲症　等に特に推奬す

發賣元 東京・本郷・上富士前町 理化學興業株式會社

說明書（文獻）進呈

菊正宗

宮内省御用達
酒界の權威

發賣元 株式會社 本嘉納商店

犬印 滋養糖

坊の悦び

坊の牛乳には キット滋養糖を入れてくださるの たから坊やはコンナに マル〳〵肥つたの

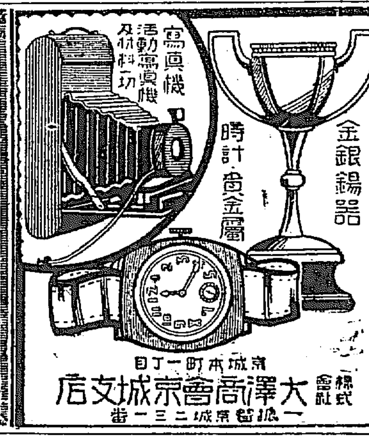
犬印滋養糖は牛乳や粉乳の成分を補充し母乳と同じ榮養價にするものです

藥店食料品店にて販賣 詳細說明書贈呈

合名會社 和光堂 東京市神田鍛冶町九 大阪市東區南久太郎町

寫眞機と材料アルバム類 思い切つて安い

山崎寫眞機店　京城辨天町二丁目 電話二一七五番



株式會社 大澤商會京城支店　京城本町一丁目 振替京城二三一番

白馬印ウヰスキー

麻雀莊移轉

謹告

今般營業擴張ノ爲メ左記ニ移轉ノ上支那人職工ヲ増員シ一層熱心ニ製作ニ從事致シマスカラ何卒倍舊ノ御引立ヲ願ヒマス

京城旭町一丁目一三一（料亭白水ノ下、大師堂前）

支那 麻雀莊京城製作所　電話本局三三五二九番

（元所在地 京城花園町五九番地）

◎月賦販賣開始（五ケ月拂）　◎型錄進呈

商業登記公告

[illegible]

昭和參年八月貳拾貳日登記

全州地方法院

[illegible]

昭和參年八月貳拾參日登記

平壤地方法院

廢棄通告を取消さぬ限り 改訂交渉には應ぜぬ

堀參事官 矢田總領事 の歸朝報告により 政府の肚愈よ固まる

【東京電報】帝國政府と國民政府との條約改訂問題に關する支那側の態度は、矢田總領事並に堀參事官の歸朝報告により大體明瞭となつた、即ち國民政府は臨時辦法の適用を中止し、その間新條約改訂交渉を開始されたいとの希望であつて、幾分從來の態度を緩和した傾であるけれども、條約廢棄の通告は依然そのまゝ存在しゐる以上、一方的の通告によつて條約を廢棄とした形となりをり、明かに國際信義を無視した結果となつてゐるから日本政府は廢棄通告を取消さぬ以上は改訂交渉に應じない決心である、右につき堀參事官は廿六日腰越の別莊に田中首相を訪ひ（一）北京最近の治安状態、（二）關内外に於ける軍狀、（三）國民政府の條約改訂態度、（四）列國の國民政府に對する態度、（五）南北妥協中止後の狀態、（六）排日運動の情勢等につき詳細報告するはず

堀參事官 本省に報告 外務次官以下即日協議

【東京電報】政府の對支方針確定に資するため北京芳澤公使の進言をもたらし歸朝した北京公使館參事官堀義貴氏は二十五日朝歸京したので、吉田外務次官は同氏並に矢田上海總領事を招き午餐を共にした後、堀參事官より最近支那の狀況につき報告を聽取し矢田總領事も意見を述べて對支重要懸案につき協議した、有田アジヤ局長武富通商局長、小村情報部長等も列席したが、有田局長は同日午後二時半東京驛發腰越別莊に田中兼攝外相を訪問して堀參事官のもたらした報告その他を報告した

首相歸京後更に協議

【東京電報】田中兼攝外相は二十七日腰越より歸京後外務省に堀參事官、矢田上海總領事を招致し吉田次官、松永條約局長、武富通商局長立會の上、堀參事官より支那事情につき報告を聽取し引續き對策を協議するはず

出鼻を挫いた内紛 列國も自重に傾く

必ずしも拙速を尊ばずといふ わが意見に傾く

【東京電報】國民政府内紛の發生は最近歐洲外交界をして漸く南京政府の將來に危惧を感ぜしむるに至り對支政策に慎重の態度をとらんとするにいたつた、即ち國民政府を以てしても支那統一事業の前途は未完成でありかつこれ等の派の内訌が頻繁となるにおいては國民政府も又一時的に勢を唱へながら政治的に支那全土を統一し得ざるに至るものではないかと見られ、かゝる未完成且つ不安定な國民政府を輕卒に信頼して國際交渉の相手とするは賢明なる策にあらずとの意見が列國外交界を漸に支配するに至つた、如上の觀察は歐洲各國の代表的輿論に現れ列國官邊の意向を反映してゐる、列國の對支態度がかく慎重な

秩父宮殿下 輕井澤へドライブ遊さる

【東京電報】秩父宮殿下には目下麻布歩兵三聯隊が演習中の處演習出張がないので久方振で廿六日早朝自動車にて輕井澤にドライブ遊ばされ、御都合によつては一兩日位御滯留遊ばされる由

東京だより

最近の世相と 國民の常識（上）

丸山幹治

東京市會の疑獄騷ぎに鑑し、既成政黨が自ら火となつて紛紛に共同防火隊を組織らんとする現狀を如實に反映するものは、民政黨代議士二名の起訴について政友會の某人も皮肉なる批評一つ敢てしないことである。政友會といへば、床次氏の新黨の旗上げを如何に [illegible]

ないのである。從つて將來なら無產政黨の如きは斯ういふ既成政黨の醜悪暴露によつて最も有利にその存在理由を說明しうる立場にある際であるが、どうもそれが思ふやうに行かぬらしい。」

◇われ等の觀る所によれば、既成政黨に對する輿論の傾向は [illegible]

いことが、政界の傾向を説明ならしめてゐるのである。比較觀念とは何かといへば、即ち「よりよきものを選ぶ」觀念である。いひ換れば惡に對して一層に徹底してしまふこともなく、同じ惡に對してもそのより惡きものを排斥する觀念である。しかして少くも結果において「よりよくものを選ぶ」ことである。この比較觀念の乏しき國民がいつまでも政界の醜聲を混濁なりしめてゐることである。現に政界の人事に關する世間の評判などにもいちいちよりよくこの比較觀念の要求が現れてゐる。」

などゝいつて公平らしく總ての政黨が惡事をしてゐるものときめかゝて、同じ惡事を働く政黨の中にても、よりあしきものを區別しよりよきものに援助するといふ態度がかけてゐないであらうかを疑ふ。また既成政黨のうちでも一致に政黨の黨派として見るのは、ますます政黨を腐敗せしめるゆゑんである。即ち既成政黨は總てわるいものといふ世間の觀念が、ますます既成政黨中の惡分子を増長せしめるのである。いふまでもなく人間は不完全なものである。

◇も批難を免れないのである。立憲政治は凡人政治である。政治である。然しながら愚民政治であり、劣惡なることをあざけるもの、それだけでもすでに現代いことを示すものに外ならない。かつて政治は貴族の手にあつた。貴族の手にあつた。それが今はにあるのである。現代の政治かすにはには現代の英雄であの民衆を動かしたものは、

ことに數値的の差別といふ點必ずしも多數黨少數黨の成績ない。内容的價値にも比較的の差があるに過ぎない觀念であへば普選第一回の總選擧に政友會は四百二十一萬八千を占め、民政黨（床次氏脱黨）は四百十八萬五千余票を占め既成政黨は四十四萬七千余票を占めがあるとすれば日本國民の中に一千萬乃至四百八萬の正邪 [illegible]

未發公債は 來年度に持越されん

【東京電報】本年度公債發行豫定額中一億一千九十余萬圓は未發行のまゝ殘されてゐるが、大藏當局は現下金融市場の状況に鑑み本年度中はその發行を中止し來年度に繰越されるとの意向をもつてゐる

一、此の際公債公募を爲すに於ては公債市價を壓迫する虞れあり
二、事業繰延の爲め政府も當に資金を要せず
三、預金部引受けとするも不用の資金の爲め [illegible]

[illegible]てゐる從つて減債基金一億一千余萬圓は新規事業資金の需要起り市中銀行が公債を手放す必要あるまでは使用せざる意向であると

公債相場安定 減債基金 使用の時期

八千代生命 新重役決定

【東京電報】新陣容を立てゝ更生の首途につかんとする八千代生命は二十五日麹町平川町の本社に株主總會を開き新取締役選擧を行ひ左の如く決定した▲社長取締役奥平昌恭、▲專務取締役宮内國太郎▲取締役平山午介▲同逸見八郎右衛門▲同濱野六藏▲監査役八幡匡正子▲同堤清六

なほ奥平新社長は就任の挨拶において左の如く述べた

南京政府の 政務全く停頓

一般に人心不安

【南京二十三日發電】第五次全體會議後中央常務會議は常務員五名の内譚延闓、蔡元培、丁惟汾三氏が南京を去つてから未だ一回も開催せず、國民政府の中心は極めて不安定の狀態であつたが、二十三日の常務會議も閻延闓、于右任の二常務委員と李烈鈞氏外二名の列席者があつたのみで、姑師政務全く停頓し一般に不安の念を興へてゐる、二十三日の會議で蔣介石氏の病氣請暇に對し政府は特に使者を見舞ひなほ全快せば速かに歸京を望むといひ、請暇も二週間と限らなくてもよいとの意味の電報を發することを議決したと

二十四時間制 採用の議

鐵道省から 滿鐵から提案

【東京電報】九月三日京城において開會の日滿聯絡運輸會議に滿鐵は時間表に二十四時間制を採用するの可否を提案することゝなり鐵道省に照會して來た二十三日鐵道省とは午前午後の區別を廢し得て利便多く歐米各國も多數採用しをり東支鐵道もこれを採用してゐるが、鐵道省は近く會議を開き採否の態度を決定のはず

藤田代表歸京

【東京電報】國際勞働會議に資本家代表として參列した藤田謙一氏は二十五日午前九時十分歸京した

第六師團の 任務を其儘

三師團は當分駐兵 何等變化ないと師團長語る

【青島廿四日發聯合】安滿第三師團長は濟南警備隊交代につき左の如く語つた

第六師團は派遣以來幾多の困難に逢ひながらその目的を果して今回の歸還するのである、第六師團は派遣以來幾多の困難に逢ひながらその目的を命を完うして今回歸還するなり、之に代り第三師團が當り極めて使命の重大なるを感じてをる、今や山東の形勢は混沌及び膠濟鐵道沿線を警備する張宗昌軍は各地に策動してをると傳へられ第三師團は兵力に不足を生じはせぬかと懸念されてゐる様であるが、第六師團と比較し力はあまり變らない、更に第三師團の歸還も第六師團と同様であるところ何等の內命がなく、僅に困まる事になつてゐる様だがいといふわが國の聲明に山東軍兵を廿支里以内に何等變更するところがないは何等變更するところがない

馮氏の歸北 噂さとりどり

どれを信ずべきか？

【上海二十四日發電】馮玉祥氏が突然南京に引きあげた事は時局方面から頗る重要視されて [illegible]

濟南事件解決 の機運促進さる

馮氏の促進態度から

【北京廿五日發電】濟南事件に對した國民政府の態度に關しては最近大分緩和され、矢田上海總領事歸任後直に交渉開始さるべしと見られるに至つたなほ我公使館からは天羽一等書記官を本月中に濟南に派して現地調査をなすと共に交渉進捗に側面的努力をなすに決した

奉軍增援兵

昂々溪に向ふ

【東京電報】奉天二十五日發電 [illegible]

排日分子 青島に入り

要路大官を狙ふ

司令部を 濟南に移動

形勢急變に 備ふるため

先づ第一に 十四國調印

終つて四十八時間内に 各國に參加勸誘

【ワシントン二十四日發聯合】不戰條約はいよ／＼二十七日フランス外務省において調印國十四ケ國全權代表によつて調印されることになつた、調印終了後四十八時間内に右十四ケ國以外の世界各國政府に對しアメリカから參加勸誘状が發せられるはず、然して勞農露西亞は現在アメリカと外交關係を結んでゐないからフランス政府が代つて參加勸誘状を發するはずである

世界平和の標識

不戰條約の禮讃 内田伯パリ乘込みの第一聲

【パリ廿四日發聯合】不戰條約調印のため二十四日パリに到着した日本全權内田伯は到着と同時に左の如き聲明をなした、

自分は不戰條約に對する日本の政府及び國民の完全なる贊成の保證を齎らして當地に來たものである、アメリカ國務長官ケロッグ氏とフランス外相ブリアン氏は何れも本條約調印によつて全世界に慰安と人類の進歩をもたらし得る事を洞見せる卓見の人である、兩氏の調印は輿論の有力なる後援を受けた、この事實は兩氏の努力と全世界の良心とは條約が必ず文字通り世界共通の條約となる事を期望すると共に完全に一致するものである、余もに之が調印は世界の恆久平和の新標識たるべきを確信するなほ内田伯は日本が世界平和の事業に參加し協力しつゝあり、又日本も批難を免れないのである

内田全權 佛外相を訪問

【パリ二十五日發電】不戰條約調印會議日本全權内田康哉伯は外務省にブリアン氏を訪問し右不戰條約に關し日佛間の利害共通各種の問題について [illegible] 佛關係の極めて親密なる事を力說した。

バルガ軍 目標を轉換

滿洲里に向ふべく準備中

【東京電報】ハルビン來電＝バルガ軍はハイラル支那軍增加に伴ひ同地ハイラルを斷念し目標を轉じ滿洲里にとり同地に向ふ準備中であると、滿洲里附近バルガ軍の兵力はカンジュル二百、ダライ湖西端附近五百（内外蒙軍二百）、ダクーロンに各々百、外蒙の [illegible]

公使兼官 武者小路氏

海戰記念塔設立會 總裁を總監承諾

【大邱電話】鎭海に日露大海戰記念塔を設立することは既報の通りだが、今度池上總監が總裁を受諾したので濟川司令官から作間御用係に左の通り電報を寄せられた左の通總監に申上られたし記念塔設立會總裁御快諾の趣承り組織の根本ここに確立す、甲山山上未だ一塊の石を置かざるも眼を閉づれば記念塔は高く雲表に聳ゆるを見る、不取敢御趣人一同に代り御禮を申上ぐ

總監大邱に着く 酷暑の行程三十六里

第二日觀察 總監觀察の

明年度から 補助航路

となる敦津航路

【東京電報】敦賀、清津航路は現在北日本汽船會社が一色丸（一千三百トン速力十二マイル）一隻を以て月三回の航海を行つてゐるが同航路は裏日本と北鮮方面との最短航路であり本年四月以降神戸鑑所間の御用船往復航が廢止されたので今後敦賀、清津航路が重要的使命をおびることゝなり、更に吉會線元山清津線の開通により北鮮の交通利便を加ふる見込もあつて逓信省は明年度から年額五萬圓を支出して之を補助航路に編入することゝなつたが、これが受命社は北日本汽船會社に決定するものと見られてゐる

水產課 新事業

十六萬五千餘圓

▲西海岸の漁業調査
▲製造方面の技師一名を本府に增員（水産試驗場）
▲日本海の海洋調査費增加（水産試驗場）
▲海苔、カキ増殖費の增加
▲築磯保護及沿岸漁業調査のため技師一名技手八名增員（水産試驗場）

内地稻作 全國的には普通

多少不作の地もあるが

【東京電報】農林省發表＝本年の稻作は苗代時期概ね順調なりしを以て苗の發育良好なりしも移植時期後は天候不順にして殊に土用入後降雨持續しかつ冷氣多かりしを以て稻の成育概ね徒長の嫌ひありて發育分蘖十分ならずしかのみならず、イモチ病の發生を見たると地方によりては水害又は旱害を被りたるものありしを以て八月十五日現在における作況は全國的には普通の狀況である

茶話

爲替強調

その因

動力供給認可

經濟

地盤が出來た

辰馬は

大株短期引跡　株式　期米　大阪市中在米　各地期米發會止　大阪市中在米　東京深川在米　鮮内再ヘ（平壤）　釜山米穀市場　群山米穀市場　大邱米穀市場　仁川大豆本定　安取栗取引

第五回全鮮野球爭霸戰

正しく强く

數多のかゞやかしき戰跡を殘して、本社主催第五回全鮮野球爭霸戰はけふから四日間にわたつて京城運動場で擧行される　本年度に成立した朝鮮野球聯盟により、鮮內にわたつて豫選を行ひ、激しくにしてその戰鬪を突破した全鮮の十選手が、それ〴〵その地方の名譽をかけて、目ざましき戰を戰はんとするのである　百萬のボールファンは一入的熱しててこの大會を待つてゐるいふまでもなくこの大會は、その組織においてその規模において、わが國唯一のものなるのみならず、わが國においても屈指のものであらねばならず、卽せずしてファンといふファンが興味の中樞をもやしたのも當然である。」

◇

われらが、今にして望むところのものは、けふから四日間、戰場に馳驅する若き戰士があくまでも如上の精神を發揮して、最後の一瞬まで共に最後までたゞ一語「正しく强くあれ」といふことだけである。

ことといふを常とするならば、その大部分はコムマシヤリズムに陷して、われ〳〵が欣ずる氣風の野球戰から相去ること遠き感いのであるが、わが國のそれは、しかしてわが全鮮のそれは如上の戰を擧げ今や全鮮のチームはもれなくこの大會に參加した。

あらゆるゲームあらゆる圖戰も、その評價は、悉く本大會を最後の戰場とする。そしてファンのこの人氣と、批評家のこの態度は、主催者の異常なる努力と、參加チームの恐るべき實力とから生れる經驗の價値から悉く大衆のまつたゞ中に認識されたものに外ならないのである

◇

近代社會は個人一人の社會ではない。數千萬のよき個人の社會である。よき個人の社會は、共同生活の第一義を要求する。そこには限りなく强く鬪ふ場所が必要に生れる。そして出來スポーツは健康であり公正であり、戰鬪なる勝敗の鬪爭でなく實力の鬪爭であり、組織の戰鬪である。なかんづく野球はナインの綜合的戰鬪と統制とが、一個のボールを通じて發展する協力心の結晶である。卽ち野球は、近代社會の倫理的、訓練的要素を多分に包藏する點に於て最適の方法である。」

◇

十五ヶ國調印後四十五ヶ國に公開

佛外相とケロツグ氏の間に交渉の結果決定

【ニューヨーク廿三日發】フランスのシエルブールに向ふ國務長官ケロツグ氏に隨行のニューヨークタイムス特派員の報道するところによると來たる二十七日巴里において十五ケ國の不戰條約調印を終つた後本條約を他の世界各國の前に提出してその一般的參加を求めることが大體決定した、これがためケロツグ氏はブリアン佛外相とその航海中無電で交渉した右同條約の大要は次の如くである

七日十五ケ國の調印を終つた日各國駐在米國外交使臣は國政府に對し不戰條約の原文を提出して條約の成立を公式通告し更に米國政府と公式關係を有する他の四十三ケ國に對して條約參加を求める

四十五ケ國の內にはエジプト、アビシニアも含まれ結局不戰條約の外ロシア及び中華民國に對しても米國に向つて公式參加を求める

米支南京事件調査委員會決定

米人の損害並に賠償額の共同調査を開始

【南京廿四日發】米支南京事件交渉委員會組織いよ〳〵決定し米支兩國は各二名づつ各代表を派遣し南京領事館は來る廿七日正式に交渉を開始することになつた、兩國委員は第一回の會合をなすはずであるが委員の決定方法は左の如くである

一、賠償要求を個人と團體とに分かちて其の損害額を調査す

二、先づ個人の損害及賠償額を査定し次いで團體に移る

三、若し兩國委員間に見解の相違ある場合は双方代表の同意する一名を選び仲裁せしむ但し仲裁者は同事件に關係無き國籍者に限る

三、共同調査は三ケ月內に完了のこと但し右期限の延長を要する場合はマクマレーの同意を要す

葡公使南京へ

【北京廿四日發】ポルトガル公使ビアンチ氏は國民政府と條約改訂商議のため來週初め南京に赴くことゝなつた

張煥相氏マ氏と會見

【ハルビン廿四日發電】奉天から

露國が支那紙を買收

【ハルビン二十四日發】支那紙面にして最近ロシア側に有利な記事を掲げるもの續出するに至つたがこれにつき確なる筋よりの情報によればロシア側は支那の有力紙をその他數人の買收に努めてゐると

堀參事入京

【東京電報】北京公使館つき大使館參事官堀義貴氏は支那國民政府の現狀その他支那諸問題につき詳細な報告をなす爲二十五日午前九時五十五分東京驛着列車にて入京した

ケロツグ氏以下ハーブル着

【ハーブル廿四日發】米國國務長官ケロツグ氏タ外相マッケンジー、キングベルギー外相はパリーに於ける不戰條約調印のため廿四日當地に到着した、ハーブル市長マイヤー氏はケロツグ氏に歡迎の意を表し、これに不戰條約に調印せらるゝ事業に對し歡迎せる今日の歡迎の辭を述べた、これに對しケロツグ氏は市長の好意を謝しかつブリアン氏の平和促進計畫の偉大さを初めて實現した

日本に硝石供給勸誘

【サンチヤゴ廿四日發】智利硝石協會役員會はロンドンの硝石業者

愈日本から

午前九時入場式

同十時試合開始

於京城運動場

全鮮野球爭霸戰

第一日【廿六日】

A 大邱―大田（午前十時）

B 咸興―新義州（午後一時）

慶熙―遞信（午後四時）

第二日【廿七日】

Aの勝者―平壤（午前十時）

Bの勝者―木浦（午後一時）

釜山―京電（午後四時）

入場料

八十錢　メンスタンド

六十錢　普通

四十錢　學生

主催　京城日報社

　　　每日申報社

爲替對策として金解禁要望

政府がその肚を見せねば回復せぬとの觀測

【東京】對外爲替の慘落甚だしくこれが對策については大藏、日銀兩當局において協議を遂げたが、何等の名案なく、遂に拱手傍觀するの現狀にあるが、右に關して財界有力筋においては對外爲替慘落の要因は、政府に金解禁を斷行するの誠意なく、從つてこれが對策については調査研究する誠意なく、今日の爲替慘落の如きも一に金融界の動向中のわが國においては當然の歸趨なりと見られて居る。卽ち政府は爲替慘落の主因を對外信用の失墜によるものにあらざるがゆゑに、事大視するもの必要なしと見て居るが、財界有力筋の見るところでは金解禁の斷行によつて金本位に一日も早く復歸する事がわが國財界の立直りを立證し、對外信用の如きものにして、未だわが國の對外信用は諸外國の並でない事は金解禁止を以て明かなりと見てゐるので、政府當局が金解禁の肚を見せざる限り爲替は常に浮動し、從つてわが國の財界も安定せざるものと見られるので、この際政府は斷乎として金解禁斷行の肚を以て爲替相場を維ずれば爲替は直に回復すべしと見られ、財界では政府の金解禁斷行を要望してゐる。」

前途暗憺たる爲替の落潮

【東京】對外爲替は慘落の一途を辿り、十七日正金銀行は遂に二ポイント方引下げ、對米四十四ドル四分三と對英一志十片八分一と改めたが市場はなほ一ポイント方下廻り對米四十四ドル八分五厘英一志十片十六分一を唱へ前途は暗澹としてどこまで慘落するかは豫測もつかぬ狀態であるが右について政府當局としても何等の對策なく寧ろ對外信用の失墜による慘落にあらざるがゆゑに、對策を講ずる必要なしと見て居る模樣であるが、今後支那問題の進展如何によつては爲替は益々慘落するものと見られて居る。卽ち七月以來の爲替相場の慘落步調を見ても支

那問題と密接なる關係を持つは外國、內地の金融關係もこれが主因をなして居るものであるが、七月上旬より今日に至る正金建値慘落狀況を示せば次の如くである

七月七日		四六弗四分三
十一日	同	
十七日		四六弗
十九日		四五弗四分三
廿一日		四五弗八分七
廿五日		四五弗四分三
三十日		四五弗二分一
八月二日		四五弗四分一
十三日		四五弗八分一
十六日		四五弗
十七日		四四弗四分三

卽ち右の狀態によつて見るが如く七月七日において四十六ドル四分の三を維持した爲替は、十七日ドル丁度となり、一ケ月を經て本月十六日に四十五ドル丁度となり、遂に十七日には四十五ドルを割つて四十四ドル四分の三となつたのであるが、かくの如く簡單に回收するものなるかの如き慘落步調が政府當局の見る如く疑問とされ、殊にこの後は豫ても十七日の二ポイント下げによつてくつがへつたのであるが、今後どこまで慘落するものか全く見越しはつかないと市場ではいふてゐる

咸鏡線全通

大富源は開發されん

戶田鐵道局理事談

咸鏡線は今回いよ〳〵竣工をつげ來る九月一日から直通營業を開始することに決定した、顧みれば大正三年十月元山より起工以來殆んど十四ケ年の日子を要し九千八十五萬圓の鐵道費を投じ幾多の難關を突破した難工事であつた、これに就元、釜山、會寧間三百八十三マイル八分、安邊十四マイル九分、計三百九十八マイル七分、これに元山線を合すれば釜山、會寧間五百三十七マイル一分で釜山、安東間に比し大差ない大延長線を成就したる咸鏡線の全通は北鮮の大寶庫を開く大鎖鑰でその經濟上軍事上の價値については既にて周知されて居る處であるが、殊に明年度においては北鮮鐵道支線および東海岸を縱走する東海北部線元山蘭谷間約二十マイルの延長

來議會提出の特別市制法案

地方分權と經濟的開發が主要なる目的

【東京】過般內務省で開かれた六大都市長會議の決議に基き特別市制案を內務大臣に提出することにはいよ〳〵來議會にこれを提出することに決した右都市制案は當局多年の懸案で容易に實現困難な點から

鐵嶺より

百瀨生

四月の下旬から東も近づいて大陸の夏かな時情いやが上にもなりました　はその後鄭家屯、洮南を巡く探見・視察し長江から北京へひたぶるに來た旧日の事は今やこの地にらんとし滿洲の麓天はいや時り曉く雲に

アムステルダムから

社友　宮田保

×　×

午後四時三分、先頭のオートバイがけたゝましい音を立てゝ進んで來た、間もなく二臺の自動車が靜かにすべつてくる。そのあと三百米余のところリンデンの並木の間に白いユニホームが見へて來た來た!!來た!!どこの選手だらう。山田選手は津田選手は。永谷選手は！瞬の中に鼓打つ。オートバイも過ぎた、自動車も過ぎた、選手の姿は段々大きく、近づいて來る。先頭三人の中二人は旭日鮮やかな日本選手ではないか。壯觀なストライドを以て一步〳〵近付いて來る。永遠のヂャイアンツ・マラソンを共に選んで

山田選手、津田選手右に歐田選手その右方二米後方に芬蘭のレーナーリノメノの五人が一團となつて進む

フーネンがついて來た。前方のマーナル、ヤポンヤポン歡呼の聲を放つて激勵をしてくれる」

その後百米位はつゞくものがない何れの選手も少しの疲勞も見えず足並はたしかなものであつた。」それから百五十米ばかり後れて大きの一群が接近して來た、我永谷選手はこの中の三番目で恰度先頭から八人目であつた。」

村人達はヤポンを盛んに歡呼して激勵してくれる、各國の選手は後から〳〵と走路の間に過ぎて行く。この地點を通過した選手は六十八名であつた。飛行の赤十字をつけた自動車を見て、我等は二千米許り通過して選手が再び通過するメッサーライシまで廻つた、私の左右と後にこの町の婦女達らしい十六七の少年少女達の十數名の者が私の外套を持つてついて走つて來たことは實に驚かずにはゐられなかつた。そこには巡査が狭められるまで多數の人が來つてゐた。巨大の兵士は既に警護につとめてゐた。」

山本監督、竹內コーチャ、星野大每、小高東京朝日、諸東新聞記者、辨士島電報、野口高師の諸氏が私の姿を見て集まつて來た。猶九區の樹下に評議に臨れば皆欣喜雀躍。」

×　×

この地點は一望平野の中に約三千米線を砥したやうな一直線の道路である。間もなく自動車の影が遙に動くのを見る、オートバイの音も聞こへる、一分、五分、十分二十分、四時四十分自動車のあと百米のところ先頭の二人は矢張り山田、津田の兩選手である。群集は熱狂的拍手と歡呼とを以てこれを迎へた。

【寫眞說明】三千米障害物競走準決勝ワインランドの超人「空かくるフインランド人」ヌルミ選手の物凄き障落振り

『戰跡に立ちて』

こゝ滿洲鐵嶺龍首ケ丘暮れゆく平原三千里うらがなし

荒野々菊の花咲きて曾ぞみ迫るか旅の愁のひし〳〵と

泪で濡らす此の國を哭ふておくれ三日月

×　×

草露上赤土濡らさでおいてくれあまり濁るとむまで秋立つ風に冷えすぎる

×　×

めそ〳〵と草葉の陰に誰を呼ぶのかキリギリス醒すまいぞ上遜しいイメージ二十餘年の其の昔

昔此の戰壕に寄りし兵士が護は六百八十里、遼河北地に攻め上せて安穩得ぎし古戰爭　市も人も絕てなし鳴呼悲し此夕べ

神宮參拜

（廿四日）鐵嶺人▲內國內地人四一四人▲支那人七人▲歐人一二七人▲鐵嶺京城會頭國二四人步兵第七八聯隊第二大隊侶兵一五人前年度國致六二

正式參拜

第四日午前九時二十歩兵參謀部長石川濟人氏正式參拜

列車時刻表

昭和三年七月一日改正

价川鐵道株式會社

下り

列車番號	11	1	3	5	21	7
新安州發		前 8.30	前 11.15	後 12.50	後 3.50	後 6.15
安州發		8.49	11.34	1.09	4.09	6.34
		8.51	11.35	1.11	4.12	6.35
北松里發		9.08	11.51	1.27	4.29	6.53
龍興里發		9.31	後 12.12	1.48	4.50	7.12
雲興里發		9.50	12.30	2.07	5.08	7.30
价川着		10.17	12.57	2.34	5.35	7.57
价川發	前 8.05	11.00	1.15	4.30		
東開里發	8.15	11.10	1.25	4.40		
泉洞着	8.29	11.24	1.39	4.59		
接續	釜山ヨリ急 7.58 定州ヨリ混 8.24	平壤ヨリ混 10.00 10.36	奉天ヨリ急 12.32	安東ヨリ混 2.34 新義ヨリ混 3.46	釜山ヨリ急 5.44	

上り

列車番號	2	4	10	20	6	8
泉洞發		前 8.39	前 11.39		後 1.54	後 5.09
東開里發		8.54	11.54		2.09	5.24
价川着		9.03	後 12.03		2.18	5.33
价川發	前 8.00	9.20		後 1.00	3.20	6.25
雲興里發	8.28	9.49		1.28	3.50	6.53
龍興里發	8.51	10.12		1.51	4.12	7.16
北松里發	9.09	10.29		2.08	4.30	7.33
安州着	9.24	10.44		2.23	4.45	7.48
安州發	9.25	10.46		2.25	4.47	7.49
新安州着	9.44	11.05		2.44	5.06	8.08
接續	安東行混 10.46 11.08	釜山行急 12.25		平壤行混 2.55 定州行混 3.56	奉天行急 5.47 平壤行混 6.47	定州行混 9.20 釜山行急 10.17

天下一品

到る處人氣の良い

此の銘酒和か松

ワカマツ

大邱　釀造元　若松商會酒造部

京城府櫻井町　若松商會出張員

久能木式石油厨爐

專賣特許（類似品中最古の歷史を有する）

定價　上ニツケル四三號形　（附屬品共）

一、久能木式は皆さんの御兒となり各階級（官吏に在りては閣下を始め各務所長局長官）を通じ御愛用を辱ふするのであります品質の純良にして經濟的なれば斯方に模倣品の出るのが常でありますが御評にも久能木式と見違へる樣な模倣品を見受ける好評が出ました其の甘言に欺かれ久能木式と思つて買ひ求め後日悔せられぬ樣に御注意を願ひます

一、久能木式を朝鮮の一部に發賣以來四ケ年の實驗に依つて全鮮忠南南北の四ケ道及び慶北の大邱では石油厨爐の王である事を認められる樣になつたので模倣品が出たのであります

一、久能木式の最高火力では硝子が燒くと燈へるのと石油が少く入るのが他品と著しい關隔のある特長であります

それですから石油厨爐を賣る者が來た時は先づ硝子を燒やさせて試驗すれば立どころに良し惡しが分ります何卒御研究の程を願ひます

一、石油厨爐で專賣特許品は現在では久能木式だけですから御承知置を願ひます

朝鮮元賣捌店　吉岡定男商店

全北群山府電一〇〇五・振京三一〇五

販賣店所在地

京城若草町大通り

今村病院

內科　小兒科

入院隨意

普通病室　隔離病室

電話　病院用本局一八三三番　自宅用本局三六三番

酒ノ毒ケシ

◎ミツワ制酸錠

酒の過飮、惡醉、及び菓子の過食等の場合に偉效ある

酒の惡醉、酒の過飮、宿醉、胃酸過多症、急性胃加答兒、惡心、嘔吐、胃痛、吐瀉症等の場合に效あり

百二十錠入　金二十錢

◎ミツワ淸腸錠

過飮過食の場合、不良の飮食物を攝りたる場合、腸內醱酵に因る下痢、胃腸を防腐殺菌して胃腸病を豫防す

百二十錠入　金四十錢

◎ミツワ消化錠

消化不良、食慾欠乏、過食、胃腸障害、榮養不良、病後衰弱等總べて消化を促すべき場合等に效あり

百二十錠入　四十錢
三百六十錠入　一圓

處方を明記せる本邦唯一の◎ミツワ家庭藥卅二方の內

調劑監督　理學博士　藥學士　小平　尙氏

著名の藥店にあり、最寄に無き時は本舖より直接御送致

◎ミツワ石鹼本舖　東京　丸見屋商店

下谷區二長町　振替口座東京七一〇番

蒙古共和國建設は免れ難き運命か

勞農との間の緩衝地帶は漸く失はれんとす

呼倫貝爾事件は最近における勞農ロシアの積極的極東政策の片鱗として、支那側もかつ又北滿に重大なる關係を有する日本側もひとしく一驚を喫するの外なかつたが、本事件の成行が如何に結末をつけるかは今後の蒙支關係の如何を左右するものとして外交界からも可成り

重大視 されゐる、マンチユリーの田中領事は、本問題の起因、經過を奉天の森島領事に詳細にわたり報告するため二十日奉天に赴いたが、事件の端緒問題に關し各方面の情報を綜合してみると、問題の解決はなかなか容易ではない模樣である、去る十八日からハイラルの郊外で支那代表として張學良氏の任命した黒龍江省出身の金某氏が當たり、呼倫貝爾側では郭甫氏が當たつて交渉をつゞけてゐる、呼倫貝爾の代表郭用氏は北京大學出身でかつてはモスコーに遊學し、年齡三十二、三歳の白面の

一青年 に過ぎないが今回の事件を起こした急先鋒で……

咸鏡北道

埠頭を離れて驛に接近して行く

移り行く淸津の市街

將來は輸城川沿岸か

鯧の豐漁

小イカ初漁

鐵道工事入札

一人の事で流會

心細い推進學校組合

城津公普校新築着手

咸鏡南道

長津江水電用地問題

地主側の結束漸次弛緩す

片倉工場操業開始

九月中旬から

稻作

平年作に比し二萬石減

國有地と森林拂下

主張を容れ……

土前中は開墾無用

火田民の迷信

慶尚北道

旱害に祟られた土地擔保の貸出

回收不能を見越し殖銀支店調査開始

美人、路上で……

土木事件の證人

續々取調べらる

支那側……

露文問……

慶尚南道

自動車は一路一線主義

競爭は避くがよい……

水口道知事談

自動車で母子を轢く

一名は即死

慶北巡視の池上政務總監(金泉にて)

慶北雜俎

警察官大異動

署長級三名退官

鯵大漁

相場は大二錢小は五厘

低資融通四十萬圓

人材拔擢に苦心す

伊達部長談

滿洲

郵便集配人が債券を僞造

新債券の發行を機會に

犯人安東署に捕る

煎子箱から拳銃が出る

荷物の拔取犯人

安東署に捕へらる

馬賊に慘殺さる

江原道

父子姦夫が共謀で婿を殺す

慘虐な殺人事件

三年目に一味捕る

鐵原方面で……

平安南道

平壤栗へ希望

品質は嚴重に撰別の事

檢査所を設ける事等々

再緣せしめ……

自宅の後方……

半圓タク認可さる

會議所案に贊成

金剛山電鐵列車時刻改正

運轉手試驗合格者

黃海道

警察官異動

忠淸北道

官選道議員任命

慰安活動寫眞

合財袋

地方人事

今夏の流行ッ子 小粒仁丹

●高貴藥サフランを倍加特製す

夏の仁丹活用
○旅行に…船や車の酔を防ぐ
○水浴に…心氣は頗る爽やか
○避暑に…水中りや食中りせず
○食後に…胃腸强健悪疫豫防
○登山に…疲勞回復元氣旺盛
○運動に…根氣と精力を盛にす
○納涼に…腹の底まで忽ち爽快

○人造象牙製
象牙容器 透明容器

氣持のよい人造象牙製の瀟洒な容器にして最近社交界の大流行
●小粒仁丹五十錢函に無代添附す
見るから清新な殊に暑中の御愛用に最も應はしき重寶な容器
●小粒仁丹三十錢包に無代添附す

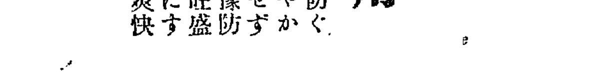
大粒仁丹

は曩に改正し胃腸の强健と精神の快適に卓効ある常備護身薬として益々愛用せらる

金言容器入 三十錢
御徳用分 五十錢
宝容器附 五十錢
錢容器附 七十錢

仁丹型體温計

品秀優産國ぐ凌を品來舶に對絶



商工省の檢定率
●仁丹の体温計は九割八八の合格
●舶來の体温計は八割八六の合格

仁丹のハミガキ

磨齒的効薬の一唯る▲す奨推の士博

●仁丹歯ブラシには男子用、婦人用、兒童用等數種あり

●使用済空チューブ空殻を三錢の割で交換
仁丹の煉歯磨に限らず總て國産の煉歯磨空チューブ（大形は…十五個 中形なれば…三十個）毎に、仁丹の煉歯磨、大一個（正價四十五錢）と交換致候

「ちげ」と東海道の雲助（三）

難波專太郎

世が泰平につれ風俗が一般に奢侈に流れて來て貨物、人馬の往來がますます繁忙にもなつて來たのみならず大名などが無暗に威張つて轎に乘以て何月何日はどこに行くから人馬を出して置けなどといふそんな譯で人馬の數も年々増加し、その人馬の補ひをつける一助として助郷の制度を設けた助郷といふのは驛の常備人馬が不足した場合に宿驛左右の近村に人馬を賦課するので、それに該當する村の事をいふのである、ところがそれが日數を經るに從つて弊害を生じた、助郷においても驛役が設置せられて數かたつうちに驛田はたゞ驛役人の口腹を肥やすに過ぎず所定の驛馬に稀にも適せず必要に應じては民間の馬匹を徴發したといふことが古書に見えてゐるが、既に是は驛役すで助郷の人馬を酷使するやうになつた無やみに難い荷物を負はせたり或は朝はやくから呼び出して用もないのにそれが農家にとつて最も忙しい時であらうがなからうがそんな事はおかまいなしに一日をむなしく過ごさすといふ不都合が行はれるやうになつたそのため自然助郷は疲弊する一方であつた、當時道中奉行もよくよく手をやいた末やつと思ひついたのが無宿の無頼漢を多く抱て置いて助郷の代りに使用することであつた、これが後世でいふ雲助である、ここが『ちげ』と雲助の發生において相連する點で、李朝時代の人足に似てゐる點である。そんな譯で雲助はどこにでもゐたのであるがとりわけ東海道の雲助は他のそれにくらべて力も強く技術もすぐれてをり唄も上手であり、行進も上手であつたといふ。かつて黒板博士は大名行列に對して雲助に褌を締がせて行列を飾されたことがあるさうでその時の話は『歴史と地理』といふ雜誌に出たさうであるが保科第一先生實驗歴史教科書にも出てゐるので今その文の中から、雲助の生活風習などに關する个所を借用すると『一寸雲助の姓を述べて置くが、昔は足を山路に入れると同時に、彼の具利加羅紋に蔽はれた雲助の裸體一點の褌帶のみの裸になつた』しかして裸體の時と襷を付けた時とを問はず六尺を肩にする場合は必ず襷の端を垂らしたさうな。それけどういふ譯かと聞くに、一體雲助なるものは人間社會の除外物のやうに見做され、彼等自身もまたその侮蔑を甘受したものであるので駕籠の前棒をかつぐものはわれから馬になつた意で、尾に擬へて襷をたらしたものだ。からして假くとたとへば高貴の客をのせた場合に、過つて尻のあたりから屁を放つやうな音を出すやうな事があつても畜類だからといふのでおとがめを受けずにすんだのである、さういふ風から垂れてゐるが襷を出る時など襷を見せては禮を失するといふのでわざと尻を向けてゐる又さあ擧興をあげようといふ時は後棒のものが息を迎ふ心持ちで、しつしつと聲を掛たといふ事である』

釋王寺

宋田晃

山道にかかれば直ちに門建ちて斷俗門てふ文字は古りつつ
山かげの岩おのづから石碑に古りつつ刻む文字あらはなり
登岸閣くぐれば深き木むら道天照るほかげ道にとどかず
あからひくま晝小暗き木むら洞山虫ここだ樹に寄りくる
斷俗門寂照門と登りすぎいにしへ人の名づけぞ稱ふ
寺々をめぐれる人もおのづからつつましく來て佛おろがむ
溪川にうつれる月しろ暇へつつ時よみにけむ時細かかげたり　（映月樓）
溪川の瀬音ぞ忘れししましくも見つつ愛しめり天つ白雲
照りみつる日かげともと溪川に添ひつつ歩む身は冷えにけり
草枕旅きしものの目にしるくみ寺の庭のひなげしの花

新著春秋

「紫靈の曲」とその著者【下】

池田利也

詩集『紫靈の曲』について『ボードレエルをおもはせる』と東京公論にあつたのを發見したが、これは少しく過言的評言ではなからうか、共存な神秘的感覺をさして評した言葉であらうが、彼の詩には頽廢的醉怠の嘆き、ボードレエルの詩を一貫して流れてゐる思想的背景が稀薄である

詩集『悪の華』に現れた、赤裸々なボードレエルの魂をとほした、深々な氣息の人間性への讚美の一種壯麗な神秘な宗教的雰圍氣の中に私は自己を沒却して、感激によつたやうな一種異國的な不快な甘美な感情を一むかし昔に經驗したとを覺えてゐるが私の錯誤であらうか實に彼の生涯は『悪の宗教の樹立』への奮鬪の連續であつたと思ふ。逆説的にいつて、彼は最も神に近き人間であつたのである

若い詩人の詩魂を、又詩作における自由性を鼓舞するやうな、藝術は健みたい。

それならば彼の詩は——月が明滅する不氣味な深夜樹の陰鬱の姫きむしばまれた心臓を、大きな一匹の黒猫に託して逼しない奇異な幻想の界をほうこうし、恐怖し怨嗟しそして訴へるところに、彼の眞價の詩魂の發露があるのではなからうか。

彼の詩の中にも表現にならうか。

ある時になつていない言葉があつたり二三の轉換として未完成な詩もあるが、詩が生れるに、最も大切な感情のひつかかりに天時がある。そして小手先の器用や、模ほうから作られた詩でなく、一種獨特な個性的な世界を持つてゐるのが强みである

彼が今後すこしく技巧の點に留意し、心理の尖端をうたふだけでなく、生活に思想により多くの皺をきざみそこに自己を沈潜して静かに人生をみつめて眞心詩作に精進すれば偉大な詩が生れることと信ずる。友人としてこの日の一日も早く來んことを祈つてかく筆す

寄贈誌から

單騎（八月號）アナーキズム思想文藝誌として六月創刊の本誌は本號に入つていよいよその編輯内容共に精緻され少ページ數でありながら多くの閲讀すべき論説、詩、隨筆、創作等を滿載して了せるは手際である。本號の顔觸れはほぼ前號と變りなき飯田、矢橋、土方諸氏の執筆に加へてマルゼル、マルチネの詩が尾崎喜八氏によつて譯出され他に佛のピエール、ラムスのミリタリズムに論策が翻譯されてゐる。（定價十錢、東京市外阿佐ケ谷二四、川合書店發行）

矛盾（八月創刊號）『單騎』同樣アナ系文藝家の最近進出を知るに足る月刊誌の創刊號である。各人の個性はその雜誌名によつても表紙の上に容易くうかゞひ見ることが出來るであらう。顧問は正にアナキストならざる北わたれらに詩論である。新居格、小川未明、佐藤一郎、岡本潤等の諸氏の創作は何人の胸にも、彼がたゞ偏見に陥ち到り、殊更に己が眼を掩ふにあらざる限り必ずや淺き共感の何等かのより精密なる思索の契機を提供するものであらう。佛のアナキスト、エ、アルマンの詩の外ルイズ、ミッシエル女史の詩、かりし頃の詩が轉載されて仙、宮島資夫、西川勉諸氏の顔を見、『單騎』同樣その成長を將來に期待したい。（定價…千葉縣中山町黒門下、岡本方社發行）

時代の扉　—手記をさぐる—（3）

N・HASHI

××詩兄—兄がいつもよくやる麥藁帽とみつ豆を思ふ每に僕は文士、俳優、詩人等々を聯想することである。みつ豆と文士、俳優へんな話のやうだが實は然らず僕か最初の芝居があそうにも思はれるに試みに劇場や歌舞伎に出かけて見給へ—必ず合ひの食堂などでよく見かける文士、劇評家といふ連中や顔はシャンが僕のみつ豆を相もうにたべて居るのに氣づくであらう。心理學者や藝術家は曲…みつ豆のカロリーについて…

××詩兄—僕も今はひからびた老骨だが、これでも若ひ血が時々として血潮を漲れた時があつたのだ。みつ豆を見るたびに僕は上山草人を想ふ。今でこそ米國映畫界の人氣役者となりすつかりブルジョアになつてをるとの話だが、十年前まだ日本にあつた頃は、草人の一座時代だつた頃は、四畳半の小さい住居の二階を間借りして眞に藝術に思案をねつた頃のことである

僕は友人小山内薰君に誘はれて一度訪ねた事がある。何でも某新聞夜から少々酒醉があり腹てゐた處であつたやうに記憶する。小山内君とは…藝術について熱心に研究創作の悩みを抱いて…

近代劇協會の創立で運動者の一人であつた。草人は…

た『今に見ていて下さい何とかやる考へです』とむさ苦しい六疊の座敷でしはくちやの浴衣掛で僕のみつ豆を僕達にもすすめながら語つたものである。

當時する間に悪戯の神路さんと娘のさんごさんが外川先生から歸つて來た。草人の仕込みだけその頃から女優としてこれまだ曾ての中に捕つて置いても紅は紅でその室の紅ひを忍ばすものがあつた。草人は藝術家型によく見るやうな極めて話は謙虚であつたが一度語り出せば情々滔々としかも語の底から押だすやうなペースであつた

堅い概念の下にきづかれた藝の話などを魂の込もつた彼自身の口から聞いたかこの僕、少しもこだわりのない親しさへ話を結びつける…

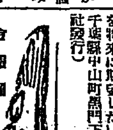
たゞ十幾年後の今日までも忘れないことは彼の天分であり彼の至誠であらねばならぬ、殊に識越な態度を僕の記憶は…

××詩兄。ツイいひをくれたが僕の友人小山内君はかつて新聞記者の…

京日詩壇

山深く斧音もして鄰の園	京城	新宅南坪
山深き鄰の庭澄みまさりけり	海州	及川汲泉
庭畑の露れを吹かるる白き露	京城	名取岳水
雨ばらばらと田稲拔れのほとをうつ	群山	澤佛波
月に濡れし蛍の燈え夜の若葉	京城	丹山
蚊遣火や朝餉時むつかしく	京城	上野静池
蚊遣燈り通ふ句作りの園胡にて	京城	淵井花子
背風や松の中なる地將軍	光州	安東八子郎
丘の裂知られてチゲが一つ見ゆ	堤川	朴曾求
夜祭の雪洞に這ふ毛虫哉	愛二浦	上田乾雨
氷呑みしおとの腹鳴りわびしくて	京城	細松樹背
昼寝寢る手の汗が光るなり	鎮川	木内傷樓

會報　朝鮮川柳會主催　信子女史歡迎句會



朝鮮川柳會主催の井上信子女史（井上剣花坊夫人）歡迎句會は十七日午後七時より御成町集會所に開催、出席者三十餘に及び盛會であつた。本社賞牌は靜香氏が獲得した。

席題「女の足」　正木靜香選

臨月の足引ずるやうに來る女
女學生高野に登る足を持ち
男装をしても内輪足
歩むよりあれが日本の女
モデル嬢足を洋服の中本願み
洋装は足の見方を變へ
仲びばば伸ばして娘膝い足
母の足もみもみ世間話し
ヨイトマケやは女の足を張
妾の足三越へ向いてゐる
紅緒の足に染まる
避暑する女日頃と別な足
一二間先で女の足を待ち
富士山へ女の足の水播
つつましい足に金魚の水
女の個性を見せて下駄は
夕顔のやうな素足

五客

語り行くのに妾の足になり
何物も容れる妾の
靴下に十五ののびて行く姿
くるぶしの處女
ベチャの男に出來座る
素足に剛れし緒の色あせつ

地位　老母の歩みへ優しくなつてやり
天位　ふくらはぎ哥麿の繪に包はれ

追加

日傘へ剛れても女の足どり
歩るけないものにされるも女足

席題「風」　井上栞吉選

ベランダー金魚に風を賞め
小扇子の汗に足らぬ母の風
雨後樂園づれの音に風
少しでも高い所をえらぶ涼風
團扇の風にもらくも感心
風淋し中途へ電車行く
信心は息ず風突き作ら
糸柳なびくは風の姿なり
工場を出る人波へ涼い風
そよ風に揺れる草の葉裏の色
風向が變り午砲を聞き
風車目にたづ原の風人村
日輪の黄色く沈む風の風
松風の音に寒さ倍にする
パラソルに頬の風が吹
巣と繩物だけをそよぐ風
夢から醒め風鈴の下の椅子
雨風になつて淋しい街になり
宇那部の風吹くその位置に
ひよろひよろ風が強過ぎる
ちぎれ飛ぶ雲に風を知り
風足を稲田に見せて行き
衆を衆へ小刻みに來る秋の風
一本のポプラへ風の向を知
追風を風帆一パイで…
街の風ポプラ並木に…
夕まで吹きまくり
日輪の氣配に風の流に見る
冠の紐に月夜の風があり

五客

深呼吸少さい風が音をたて
また立つて逢ふ夜を風に
新聞紙座吸の隅へ吹きよせる
運命は風の落付くに似たり
北風を蹈馬は牛無で顔で來
つむじ風…見えて消え
沙漠また地形を變す風となり

人位　悪風へ蜘蛛の軒へ付き
地位　風の香風と埃りの庭に人
天位　空風今日も勤めに出る身なり

追加

風邪く蝿のはばたく風もなし

席題「白きもの」　井上信子女史選

白い肌落語たいとこ
闇を來る浴衣である
夕顔の花を闇捕る
吉と云ひ凶と云ひ白紙に刷り
女神像白く灯が
母上の白髮ぬいでやり
水溜り月を寫して月に照り
白い計りへ夏の眞つ盛り
雲に立つ白無垢へ眼つむり
拔き捨て白足袋秋近し
白靴の埃のまゝもみすぼらし
周衣の白は目立ち秋となり
寒暑を拔く富士が峰
初旅の只奇異に見る高麗の人
白服の白は女房のあらしい
旅に居る氣持ち浴衣の肌
物干を眞白にして夏の蟹
御宮が朝の祈りを白さ
眞白に咲いて夕顔夜を誇り
眞白な晒布、母のありがた味

五客

白い壁123の倉描き
くら闇の中に夕顔罰なり
紙漉場段々仕上に近い色
白百合の如く令嬢世辭を受け
口紅の白い歯並を見せて笑み
御香の白磁の像にうなだれる
繃帶の跡ほんとの肌膚の色
うつしよの白紙も色
骨拾ひ又…が溜れて來る

五客

蚊帳の…火事の白くなり
白壁の跡型もなく土蔵毀れ
汽車の窓で喪服の親しめづ
忘れたい眼に佛壇の白位牌
白雲が動かず登の疊さなり

人位　新らしいカラー今日も逢ひに來た
地位　眞つ白に巣をまとふ
天位　雨上り梁に子蜘蛛の巣

京城聯楠會（村子居）

秋涼し我ものみな町へゆき
山の茶園はかなく秋涼し
虫なくや通りすがりの花白く
秋涼しい和つときの花質
町中の夜の畑虫を聞いて
仁川俳句會（於富士堂居）
銀漢や砂丘のうねり
日記書いてふらと川に銀河哉
水瀬の色暑さを忘れけり
夕顔に疲れふと見眠らうよ
木の葉も明かに夕涼み
帽子とれば日盛に京城に…
西瓜切つて車夫招く
水に落れて舟とめ竿や夏の月
銀河…夏ゆく瀬戸や底鳴す
天の川…落る水更けて
銀河…蚊の羽音
暮れ近く雨や茄子の涼しさよ

朝雲吟社（粗里有風報）

庄司鶴仙氏歡迎句會
露の觀牛の乳房の垂れ觸る
狂ひ咲く朝顔に登の飛蟲
雨催垣朝顏の葉より
水泄むや井の鶏草…
垣間見え人の頭はひや
鉢朝顏を古木の鉢と並べけり
川水跡小魚…

募るもの

短歌　尾上柴舟先生選
川柳　井上劍花坊先生選
俳句　臼田亞浪先生選

一、題は定めず、一人五句又は五首、用紙は半紙を用ふること
一、記、封皮には俳句或は短歌と朱記すること

締切　八月卅一日

會報　國風句選

南山吟社次回課題

優等清酒　登錄商標
馬山・釜山　原田吟醸
京城大和町　若鶴支店　鍛冶酒店　本局二〇二一番
京城黄金町　大脇酒店　本局一二九九番

月經　特殊流經劑　レスノリン
月經閉止四五ケ月以內に確實の流經作用を以て容易く安全に應用の目的を達する特殊の効力を有す
定價　一瓶　三圓五拾錢　説明書　三錢切手添申越進呈
發賣元　大阪市北區曾根崎一丁目　常盤藥院

驚クベキ特効藥　酸素丸
胃腸病、心臓病、神經衰弱、一般衰弱、貧血、血の道、子宮病、産後の諸病、ヒステリー、月經不調、月經時の疼痛、尿道狹窄、慢性淋病、慢性消渴、常習頭痛、常習肩の凝、糖尿病、胃病、淫萎、咳喘、便秘又ハ眩暈、バセードー氏病
價ハ七日分一圓、十五日分二圓、三十日分四圓
製藥元　南滿洲本溪湖　中西亮

洋式簡易　文化と共に生れたナニワホテル
大陸の玄關たる大連市繁華の中心（浪速町伊勢町角）に五層樓建築し室内凡て洋式暖房エレベーター自動車等完設し簡易と便利をモットーとして營業仕候所各位様より多大の好評と御引立を蒙り日に増し隆盛に赴き候段厚く御禮申上候御來連の節は是非一度御試泊の上御批評御指導被下度事願候
一室料　三圓以上五圓は風呂便所附
地下室に食堂の設けがあります御利用下さい
大連市浪速町伊勢町角（電話三三四五番）ナニワホテル

資本金　五百萬圓
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
電話又は御一報次第社員參上可仕候
日本共立火災保險株式會社
鮮內代理店所在地　京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鳥致院、木浦、光州、群山、全州、裡里、元山、咸興、城津、新義州、海州、沙里院、清州、公州、江景
出張所長　三鍋才次郎

耳鼻咽喉科専門　坂井醫院　入院御隨意
醫學士　坂井
電話

模範　全乳
東亞牧場

御用意ハ!!!
今秋ノ商戰ニ備フベキ巨砲!
タービン式撰穀機!!!
石拔完全・故障絶無・能率増進
價格低廉・設備簡單・動力僅少
特許局ヨリ專賣特許第七六九〇六號ノ下付ヲ受ケタレ共鮮米改良增進ノ目的ノ爲特ニ價格モ從前通リニテ御用命ニ應ズ
慶尚南道泗川郡泗川　タービン式撰穀機製作所

お待遠様でした！
長らく御需要に添え得ませんでしたが愈新製品が豊富に入荷致しました
何卒陸續ご御下命願ひます
本年度新製品が愈入荷しました
東京丸ビル　日魯漁業株式會社

海を一　誇るべき存在　木徳島の霧信號機
「見守るもの……六」

木徳島も京畿道富川郡德積面にある。燈臺の看守には、首長に長谷川藤吉郎、李俊鎬君と黒岩宗平君とは補員として長谷川君を助け外に職人の小使があり、都合四家族がこの島の住人のすべてゞある

◇

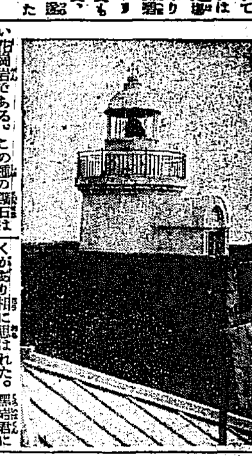
燈臺は六等（レンズ内徑〇、三〇〇米、同高〇、四二三米）の燈臺に屬しパビエール型芯の石油燈閃紅白光、二千燭光（光達十八浬光）燈臺から六十六米三の高さでサイル四方のやみを照いて照明の矢を射る。昭和三年から始めて灯が入れの晩年のくれにはじめて灯が入れられたといふ

この燈臺には朝鮮燈臺界の唯一内地のそれにも誇らべき霧信號機が取付られてある。それは十一馬力の石油發動機二臺を原動とする壓搾空氣によるサイレンで、霧中に見るやうに、陸上に暴狀に聞いて音響が四方に傳達するやうになつて居る。ラッパ形の發聲裝置にまさること勿論である。音響は鳴を低の二種類で、まづ低聲で三秒間鳴り、三秒の間を置いて更に又三秒間の高聲の音響を發する。これが終ると一分二十一秒間を置いて……

「スッキ釣りの御案内を致しませう」といふ黒岩君の臨に促されて島の西側の側に行く。それは赤黒い花崗岩の斷崖である。足場をさがし、手がゝりを手付て下りて行く。岩は熱く陽に焼けて龍岩の海面を下にして體身がヘットリ汗になる。かうして下りた甲斐もなく、年に結んだ釣糸が幾十度、幾百度かひかれ投げられても、遂に小魚一ツかゝつては來なかつた

◇

「時がいゝのですが……」と黒岩君がいふ。聞けば昨日は十數尾の釣り上げたとい……



十強こゝに相見えて　けふ全鮮の覇權を競ふ　地方代表の意氣物凄く　半島に漲る大會氣分

五千圓を危く詐取

闘志に燃ゆる十豪の意氣　きのふはともに最後の示威練習

應援規定

一、應援は應援歌または拍手だけにして下さい
二、競技の妨害になる鳴物は使はないで下さい
三、觀覧者は絶對に競技場に入ることを、お斷りします
四、審判員および選手に對して卑な野次は絶對に禁止します
五、ネット裏の記録席は本社規定の記章をつけた人以外は絶對にお斷りします
六、選手監督、コーチャーおよびスコアラー各一名以外はベンチに入ることお斷りします
七、その他競技の進行を妨げる行爲は一切つゝしんで下さい

投票の山

劈頭戰に相見ゆ

（右）大邱商の主將高宮投手　（左）大田軍の主將田中投手

球場に擴聲装置

松汀水利に農民側は大反對　利用されたと稱し調印取消しの申請

同地の地主農民の設立同意を得て目下總督府に設立申請をなしてゐるが……

呈して

優勝杯　大久保眞敏氏寄贈

小作農の死活問題　美名に隠れた不純の動機

反對

美名

臨幸を仰ぎ圖書寮開館式　門外不出の秘書を研究家に縱覽さす

けふ限り　似顔劉みの會

質屋荒し犯人の容疑者を逮捕す　さらに共犯者を擧ぐべく本町署が大活動

三人組

平氣を

童話と舞踊の夕

第一部
1、ハーモニカ獨奏　宮村敏夫
2、童謠獨唱　岡村泰子
3、童謠舞踊　寺井千恵子
4、童謠劇　赤い鳥會員

第二部
1、ハーモニカ獨奏　宮村敏夫
2、テノール獨唱　葛西 保一
3、ピアノ獨奏　小林 ユキ
4、童謠舞踊　寺井千恵子

懷中藥の容器に裸體寫眞を封入　【カオールの保健カード】或ひは販賣政策か

密封

匹敵

旅客船顚覆す　宇品沖で死傷十數名

刺戟されて電燈値下　大阪の四社も近く斷行

贓品の一部を發見

航空會社の創立總會を開く　株式割當もすみ十月廿日に開催

内鮮滿を股に安々と空の旅　料金は一等寢臺と同じ　山本遞信局長語る

發展

速力

日給を割いて航空費へ　危特な在郷軍人を表彰

七千餘圓の大詐欺　常陸丸を種に

盲青年が槍ヶ岳を縱走

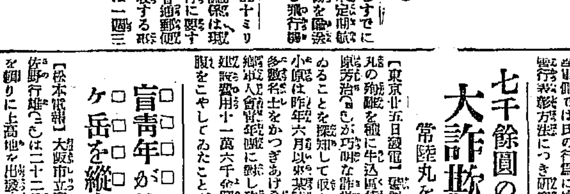
百數回に亘る只乘り

イギリス海峡を横斷　妙齢の婦人が

朝鮮選手レコード會

肺病全治御禮
山口縣玖珂郡岩國町川下中津　津川房江（三十才）

農業世界夏期大增刊　簡易動物圖鑑

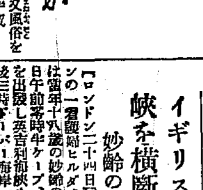


趣味實益の殿堂！
◎愛翫用の動物種々
◎家畜と家禽類種々
◎動物の寫眞と圖解
價六十錢　東京市小石川　博文館

朝鮮窒素肥料株式會社指定旅館　赤田屋　咸南内湖驛前

恩給
恩給、年金、扶助料等ノ御相談ナラ親切ニ御取扱致シマス是非御來車ヲ
日鮮恩給協會へ

宇治本場　新茶　京城　水月堂



色白くなる

地圖と軍需品　龍山練兵町　小林又七朝鮮出張店

京日案内

キネマ　東亞倶樂部

小説　明石將軍（129）

白石實三作　多田毅三畫

怪しい醉漢

ポーランドの北、ボルチク海にのぞんだダンチヒ自由市のあたりには、昔ポーランド王國の古城が殘つてゐる。海にのぞんだ古い城壁は、或ひは兵營となり、役所となり、または監獄にあてられてゐた。」

その一つには、政治犯罪の囚人が收容されてゐた。いづれも國外にゐた黨員で、それを一まづこゝに集めて、本國へ護送しようとしたのであつた。が、滿洲は戰爭地帶である。滿洲に隣接するシベリヤへは、かやうな危險な黨員を送るわけにはゆかない。勝敗の形勢が確定されると同時に、彼等は略式裁判で判決をくだされ、手つ取りばやく秘密の中に絞殺されるの運命にあつた。」

囚人は、いづれも荒くれた若い男であつたが、その中に一人、妙齢の若い美女があつた。

「すらりとした背格好、ブロンドの髮、憂ひをふくむだ眼元、さびしくほゝえむたびに、あかい唇から白い齒がもれる美少女」と、當時の新聞記者がかの女について形容するところである。一九〇五年ロシアの革命をいろどつたのは、たしかに、艷麗花のやうなかの女の勢力であつた。

しかも、當時の記錄に散見するその美少女こそ、革命婆さんの一人、アンナその人にほかならない。さうして、かの女は今や、他の黨員と共に、死刑を受けにロシア本國へ送られるのだ。」

「けれど、私にすれば、」本望だ、そして、できるならばモスクワで死にたい。おほ、なつかしいセルゲイ……私もやはりモスクワで死んだのだ」

女囚なるがため、獨房にとぢこめられて闇間で彼女は、しづかに瞑目し、瞼をとぢ、亡い戀人のために、哀歌を誦するやうな氣分でゐた。」

夜は、もう更かつた。外は風が出たのか、波の音は次第に高まつて、城壁の下の岩にくだける響が、時を動かして、はげしく響つた。

と、波の音の絕間にふと、醉が、しい人聲がきこえる。アンナは、眼をひらいた。

「此所もあらうに、何人？」と、耳をかたむけると、番人が、誰やら人を叱るやうな聲だ。

「馬鹿者め、こゝをどこと心得てゐる、監獄だぞ。何なら貴樣も拋り込んでやらうか」

「へえ、こゝが監獄……」相手は

ひどく醉つてゐるやうな濁聲で、「監獄？結構だな、どうせ浮浪人だ。何なら一晩厄介になるとしようか」

「これ、これ、こゝへ寢ては困るではないか、貴樣の宿はどこだ？名をいへ！」

「宿かね？宿はダンチヒの街路の下……いゝかね、街路の下だつてことよ！」

「これ、これ、さう管を卷いては困るではないか、名は何といふのか？」

「名はセルゲイ……」

「セルゲイぢや？」

「へえ、モスクワ生れのエス、エフ、セルゲイ！」

獄房の中ではつちり眼をあいたアンナは、びくりとしたやうに飛びあがつた。ちらつと本能的に後を見返りながら、彼女は、窓にぴたつと眼をあてた。

「シリヤスだ！救ひに來たのだ！」

思はず彼女の胸は躍り、兩頰は紅潮した。全身の血の走るのが耳の底にきこえた。

聞きおぼえのあるシリヤスの聲は、刑還つて高くひゞく。「なあ番人さん、から名乘つた上は、無論よく一晩の宿を借してくんな。おいら、メンチヒの街路の下より、寢せ場をやり、押しだからな……頼む、さあ俺をこの監獄へ打ち込んでくれ！」

新しいペン　新しいお菓子　木村屋は皆さまの貯藏庫です

お勤め先ニシテ世間ヲ稱セル　**マラリア特效丸**　販賣店各地藥店ニアリ　京城府旭町二ノ八八　本舖　㊒**林藥房**

新らしい出版物

▲日本夫（九月）愛讀武夫氏主宰　【以下判讀困難】

京菓子　京屋（電話龍山七五二）

▲早稻田學報（八月）東京市外戸塚六四七早稻田大學校友會　非賣品▲朝鮮銀行統計月報（五月分）朝鮮銀行非賣品▲大阪石鹼商報（五二號）大阪市南區北炭屋町一七其社十錢

◇通俗海洋學（德野彥太郞著）著は東京水產講習所技師の現職にある人、本書は、海洋の構造、海水の幾分、海の色、海中の生物など十數類に亘り海に就いて平易に記述されてある。頭俗と銘打つてある丈けに蝕迄興味を離れない筆致を忘れない、一般家庭の子女にも讀め得る好著である（東京市小石川區白山御殿町二七社發賣協會十二錢）

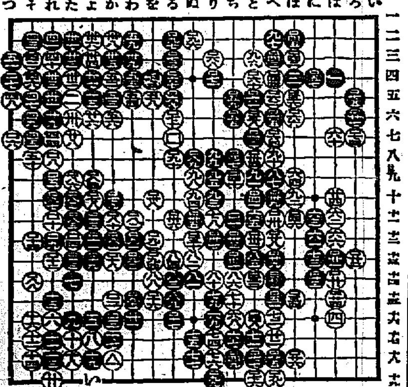
◇聖訓謹解（內田良平謹解）本書は本年四月、著者が大阪府下舉正殿登の始業の際、職員生徒を前にし、同校教育の精神を指示するために四日間に亙り、明治天皇の下し賜つた教育勅語を、獨自の史眼と見地から講述した時の筆記である。現代思想界に精神作興波瀾の動機を與ふるもの、殊に末には明治陛下御製の御和歌を添へてある（東京市麴町區永田町二ノ八六黑龍會出版部一圓）

讀者らん

▲『鮮內唯一の水晶寫舍は趣味鮮式建築で立派に落成したのに水晶を抑尾して京城觀光客の觀覽を一般から除かうとする一人である（內地から來たランナー）▲遊木町〇〇藥局のおかみさんよ餘り子供だと思つて馬鹿にするものぢやありません廿三日に五圓札に一圓の買物をしました處が八十錢のお品物に四圓のつり錢でしたお店の信用にかゝりますから御注意なさい（憤慨した乙女）▲龍山漢江通りのラッパは野原か山へいつて吹いて貰ひたい早朝過ぎて安眠妨害なのずや（被害者）▲當方の知人某中學校の先生男一人寶師ゆゑ四五十才の御婦人で正直な方御世話たいと留守居をして下さる御方はありませんか（三坂小學校裏門の東一九二番地の一西原方）▲四十二才の女十七の男の子をつれて居る者ですがどなたか留守番か炊事御仕事何でも致しますゆゑに使ひ下さいませんか（困つてをる女）△該當の方に御相談しては如何です（係）▲三十八才の女一度御出下されまし如何樣とも御相談致しますからぜひ御尋ねをお待ち致しておりますお子様を御連れなさつて一度お目にかゝりませう（南山町長門尾內）▲三十八の御願ひ女御相談の上願ひたし（電本二九〇四番へ）▲二十四日三十八才の御願ひ女樣契約社の重役ですが當分一人です子供迄で差支ありませぬが留守居頼たきを御願ひ致します（電話本局三五二一番）▲お願ひ生職、英語の通譯御希望の由、當方今月末までなら當地滯在中につき喜んでやつて差上げませう（黃金町七ノ一三五）▲二十二日の鑛石ラジオ中古不用者に御讓り致します、譲り受けたし御住所および代價を左記にお通知下さい（步七八ノ五本町二丁目一〇七番地〇）▲可愛い猫ありますか、男猫一匹、女猫二匹、素性のよい猫です御希望の方は（電話本一五〇八）▲普通文官試驗受驗御願り下さる方なきや（8生）▲私は東京の日本女子大學の家政科に入學したいとおもつてゐますが何と何の試驗があるのですか又試驗は東京であるのですか御存じの方は讀者欄まで（知りたい女）

圍碁新局（十）

先　小野寺　（三段）
　　坂口　（初段）



演藝案內

東亞俱樂部　東亞キネマ直營　▲廿六日より大東亞キネマ創設以來の代表的一大特作、國民思想を啓發する維新建國史の秋、東亞キネマ特作　新日本建國史　**王政復古**　前後篇　廿二卷

大正館　二十三日封切超特別大興行　天下に獅子吼する彼等の血叫を見よ　最大最高阪妻革新の熱血篇　松竹キネマ特作時代劇　**悲戀劍闘**　六卷

中央館　マキノ社　二十四日ヨリ三日間超特別大興行　東西三大映畫特選公開

龍卷　全十卷　パラマウント社特作　巨匠D・W・グリフィス氏監督

神州天馬峽　第四篇　全七卷

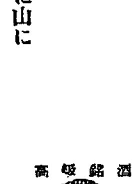
喜樂館　世界的三大名畫を公開す　八月廿一日（火曜日）より　日活時代劇部作品監督志波西果　**江藤新平**　十卷

◇大學選手　七卷

京龍館　八月二十五日土曜日ヨリ　米國ゴールドウイン映畫會社提供　監督ジョージ・フイッツモーリス氏　主演ロナルド・コールマン　**天惠**　全六卷　**四谷怪談**

京城鐵工所　ニノミヤ式　各道郡御指定　ニノミヤ式石油發動機　ニノミヤ式製粉精米機用機　同セントリヒユーガルポンプ　同バーチカルポンプ　精米麥粟碾機各種　粉挽機各種石碾機械提供　4,5,6,8,10,15,20 馬力　豐富品庫在　【型鋳造品】　地方特約店募集　京城府西界洞三三　京城鐵工所　電話龍山貳貳叁番　京城驛前　京城鐵工所營業部　電話本局九四一番

銷夏！　海に山に　銘酒「朝の花」ありて　興趣更に一段　高級銘酒　朝の花　朝鮮酒造株式會社



內科胃腸科　腦神經病　京城本町四丁目百五十五番地（電話本局三一七四番）　北島醫院

本店　京城府南大門通一丁目十四番地　電話光化門長七六〇番　振替口座京城二〇五番　株式會社　漢城銀行　取締役會長　白完爀　專務取締役　堤永市　支店　南大門、東大門、西大門、水原、大田、大邱、釜山、開城、平壤、平壤大和町

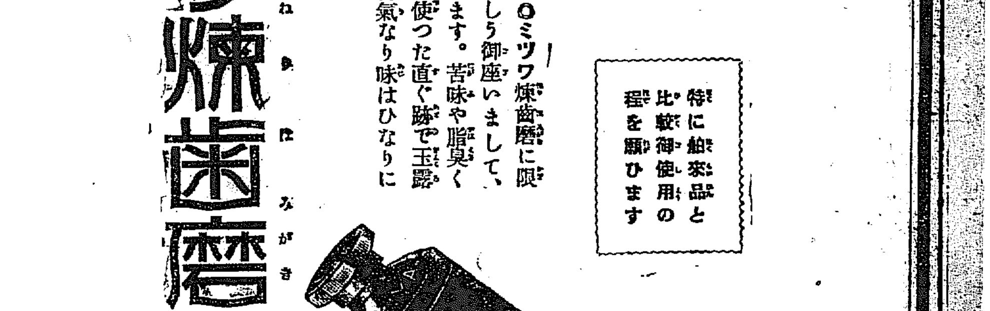
釜山府幸町二丁目　土木建築材料　（伸鐵鋼、鋼、鋼管、鉛板）パイプ、鐵線、工業用付屬品　角野商店　電話長二三三番　振替口座京城一三九番

カユミトメ　刺戟が無くて繃帶のいらぬ　〇ミツワ制痒膏　凡てのかゆき場合に用ひて效あり、殊に皮膚搔痒症、汗疹、汗疱、濕疹、蕁麻疹、疥癬によるかゆき折には最も妙なり　チューブ入　定價金二十五錢　蟲にさゝれても直に毒を消す　〇ミツワ螫蟲液　蜂、虻、蚋、蚊、蚤、虱、床蟲、毛蟲等凡て蟲類に螫された場合に用ひて、直ぐにその毒を消す效あり　壜入　定價金四十錢　製劑監督　理學博士藥學士小平氏

處方を明記せる本邦唯一の〇ミツワ家庭藥二方の內　お近くの藥店にあり、品切に無き時は本舖より直送　〇ミツワ石鹼本舖　東京丸見屋商店　下谷區二長町　振替口座東京一〇番

時は夏　日は朝　大切な朝の心持を整へるのは〇ミツワ煉齒磨に限ります。芳香が優雅で味が涼しう御座いまして、齒を皓く美しく丈夫に磨出します。苦味や臘臭くなくて跡口に殘りません故、使つた直ぐ跡で玉露を味はひましても、微妙な香氣なり味はひなりに些しの障りもありません。　特に舶來品と比較御使用の程を願ひます

〇ミツワ煉齒磨



〇ミツワ石鹼本舖　東京　丸見屋商店

船舶出帆

〇朝鮮郵船出帆　〇金剛山探勝航路開始　咸北丸　八月十六日、二十日、二十五日　元山發　毎日午前九時　長箭發　毎日午後三時半　長箭發　毎日午後九時

▲漢江丸　八月三〇日　朝鮮西岸各港經由博多行　▲芝浦丸　八月三〇日　北鮮各港經由博多行

〇仁川出帆（代理店內國通運支店）東京行　金剛山丸　九月九日　大阪行　漢江丸　九月二日　長崎三角鹿兒島行　鷗南丸　九月一四日　木浦行　昌原丸　九月一日　濟州行互濟丸　八月二七日　大連行　咸鏡丸　九月二日　釜山上海行　會寧丸　九月五日　鎭南浦大連行　平安丸　八月二八日　南鮮丸　九月八日

〇木浦出帆（代理店山野回漕店）東京行　金剛山丸　九月一日　大阪行　漢江丸　九月四日　濟州島行　濟州丸　八月二九日　多島海行　興東丸　九月一日　仁川行　昌原丸　九月六日　釜山上海行　平安丸　九月二〇日

〇釜山出帆（取扱店大船回漕部）東京西鮮行　金剛山丸　九月一三日　東京北鮮行　長白山丸　九月一日　大阪西鮮行　慶州丸　八月二八日　大阪北鮮行　春川丸　九月九日　長崎三角鹿兒島行　鷗南丸　八月二七日　大阪線（釜山）行　咸鏡丸　八月二九日　北鮮行　櫻島丸　八月三〇日　浦鹽行　清津丸　八月三〇日　上海行　平安丸　九月三日　鬱陵島行　隱城丸　八月三〇日　江原道行　雄基丸　八月二七日　濟州島行　鏡城丸　九月一日　宇品大阪行　立神丸　九月一九日　浦潮北山行　立神丸　九月八日

〇元山出帆（代理內國通運支店）東京行　長白山丸　八月三〇日　大阪行　芝浦丸　九月一日　北鮮經由行　春川丸　九月六日　江原道行　忠清丸　八月二八日　舞鶴敦賀　白頭山丸　八月二七日　元山清津　光濟丸　八月二七日　雄基行　春川丸　八月二七日　孔德行　清津丸　九月一日　宇品大阪行　立神丸　九月一七日　清津直行　立神丸　九月一〇日

▲右之外各地共臨時船ヲ配船致シ船腹ノ潤澤ヲ圖リ便宜ヲ取計ヒ居候

●日本郵船出帆　歐洲行　箱根丸　八月二〇日　神戶　九月七日　濠洲行　天津丸　九月二九日　神戶　八月二一日　歐洲行　丹後丸　九月七日　神戶　九月一四日　長崎　九月一二日

朝鮮汽船出帆廣告　●釜山出帆（取扱店釜山回漕店）麗水行（急行）各港寄港　毎日前十一時　木浦行　各港寄港　毎日後一時　麗水行　各港寄港　隔日後一時　統營行（急行）毎日夜半　浦項行　各港寄港　毎日後十一時　方漁津行　各港寄港　毎日前十時　●木浦發（扱店吉田回漕店）釜山行　各港寄港　隔日後十時

朝鮮郵船株式會社　京城南大門通り　電話本局（四一九五番、四一九七番、四一一九八番、四一九六番）　釜山支店　大倉町　海岸通　電話長一八四番　元山支店　海岸通　電話長一三〇番　仁川出張所　海岸町　電話長三五一番　京城代理店　內國通運會社　電話本一七九、三一〇番

嶋谷汽船仁川出帆　〇寄港地＝天津、大連、鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、（臨時）函館、小樽、大泊、眞岡、釧路、厚岸、根室、〇各港共總噸數二千噸以上ノ優秀貨客船ニシテ毎航臨時船ヲ配シテ以テ荷客ノ便ニ供ス

大連天津直行（大連汽船天津航路寄港）

仁川發　長成丸　八月廿日未明　大成丸　八月廿二日未明　裏日本北海道行　八月廿六日午後　樺太行

鎭南浦發　代理店三和町　日鮮海運出張所　長成丸　八月廿六日午後　大成丸　八月廿日午後　平安丸　八月　日午後

仁川發　代理店本町四　日鮮海運株式會社　阪鶴丸　八月廿八日午後　大成丸　八月廿　日午後　長成丸　八月　日午後

〇各船共三千噸級優秀貨客船ニシテ無電裝置アリ

嶋谷汽船株式會社出張所　電話五八五番　仁川代理店本町四ノ二　日鮮海運株式會社　電話五〇一〇八番

京城代理店　京城驛前　朝鮮運送株式會社支店　鎭南浦代理店　日鮮海運出張所

田森信汽船仁川出帆　▲江華島行　▲延安行　▲群山行　▲瑞山行　▲牙山行　各沿岸行　帆船貨物引受　仁川港町（電話一六三番）　森信汽船會社

仁川出帆　郡山、吉木浦、阪神　八月廿四日　伏見、木浦、阪神　八月　日　西山、木浦、阪神　八月廿五日　郡山、代木浦、阪神　九月二日　京城、木浦、阪神　八月廿九日　高杉回漕部

定期航路　海州線　隔日出帆　仙掌線　隔日出帆　延安線　隔日出帆　舊島線　毎月十回　瓮津線　毎月八回　德積線　毎月六回　信島線　毎月五回　靈興線　毎月五回　仁川汽船出帆　仁川汽船會社

昭和三年八月廿六日

京城日報

號外

編輯兼發行人 鮫島宗也
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

本號外は本紙に再錄しません

鐵棍秋空を切る所
熱球火を吐く大接戰
中央の兩雄殿りを承り
午後に至りて更に白熱

本社主催第五回全鮮野球爭覇戰第一日廿六日は午後に至つて觀衆は更に殺到一萬を抱擁する流石の京城運動場スタンドもまたゝくまに埋れた。殊に午後をかざる國境の雄新義州の好守と、北鮮の古豪オール咸興の火の出る様な熾烈の雄戰に加へて、歴史のみを二丸として過去四度の榮譽に醉へる慶熙倶樂部とファイティングスピリットを極度にもやして昨年すでに本懷を遂げんとして涙をのんだ遞信クラブとの血の出る様な接戰があるのである。球は新秋とはいへ的熱の炎天は燃えるばかりなる中をハイカチと白扇をスタンドにちらつかせて、一球一球と選手の瞳を睨かす。こなたに野守水ももらさぬものあれば、かなたに猛襲もの凄きものがある。鐵棍の守備と、堅据の健棒とが相きつ抗する所、こゝ戰場場裡に若き戰士の血と涙とが、花綵の如くかゞやかしく展開するのである。ある時は怒濤の如き拍手が渦捲き、ある時は嵐ものゝ如き歡聲がおそひながらゲームを更に佳境に導く

雌伏の遞信酬られず
苦戰の慶熙に凱歌高し
滿場を手に汗せしめて
さしもの大試合終る
2—1

第一日のしんがりをうけたまはってしかもこの日のファンの期待こぞってかゝり戰はざるにすでにファンの熱狂を呼んだものは實に慶熙倶樂部と遞信倶樂部の對戰である。慶熙は人も知る四度優勝して大旆は赫々と彼らがナインの上に輝いてゐる、遞信また今油の乘りきつた好チーム、しかも昨年の決勝戰に相見えた兩軍は、遞信にとつては千載一遇の雪辱のチャンスであり、慶熙としては昨年の勝利を一層確實にせんと必死の戰を戰はうとしてゐる、死戰を覺悟した兩軍のきつてうこそファンの涙しながらみるゲームであらう 果然この日の大試合は午後四時二十分大井手球審のプレイ宣告に滿場碧空を破るばかりの大拍手を起して鍋島氏壘審慶熙倶樂部先攻で開始した

試合經過

一回 (慶熙)一死後土谷一—二の後死球を喫したのが因をなして岩城の左、中間安打を二進重田二壘ゴロで三進岩城が封殺されたが重田と併盗を企てゝ離塁した所に捕手牽制球を三壘手逸して土谷生還一點を先取す▲(遞信)投手フライに代る▲(遞信)淺野劈頭に遊擊ゴロ慶投を利し捕手逸球に二進、平島の犧打に三進したが二木の遊擊直球で離壘した淺野併殺さる(慶熙一、遞ゼロ)

二回 (慶熙)三者凡退▲(遞信)一死後前原中堅右に絕好の二壘打を放ち、佐武三振のまに三盗を企てたが捕手牽制球を低投して前原生還同點となり清水三振に退く(慶ゼロ、遞一)

三回 (慶熙)鈴木(弟)中堅奧の大飛球を好捕されたのち鈴木(兄)三遊間を抜く直球安打に出て二盗、土谷小打ののち、岩城二ゼロでまた三遊間安打に出たが重田二壘飛球で入らず▲(遞信)三者凡退 (兩軍ゼロ)

四回 (慶熙)二死後坂本二ゼロにしてニアボールをフラフラと放つて三遊間安打としたが後援なし▲(遞信)平島先づ遊擊左安打に出て二木の犧打に二進岡崎二壘ゴロ失に生きて走者三進したが藤原とのスクヰーズを誤つて平島本三間に挾殺さる前原三振して入らず(兩軍ゼロ)

五回 (慶熙)鈴木(弟)一一のゝち三壘右を直球で抜き、鈴木(兄)三振後二盗土谷の左翼飛球、後、岩城三壘を抜く安打に鈴木(弟)一擧に生還一點をかちこし岩城そのまに二進、重田四球を導ぶ(投手金田、右翼手岡崎と代る)かくて投手暴投で二、三進したが關の中堅飛球を好捕されて怒る▼(遞信)佐武一一二後右翼右に快打すれば野手好走して間に合はず二壘打となつたが、清水、金田三振、宮本二壘飛球に空しく終る(慶一、遞ゼロ)

六回 (慶熙)三者三振▲(遞信)一死後平島右前安打に出たが二木三振と同時に二盗を企てさゝさる。(兩軍ゼロ)

七回 (慶熙)三者再退▲(遞信)岡崎遊擊ゴロ高投に二壘を導ひピンチヒッター田中三—一後四球に出て慶熙のピンチ漸く來り、兩軍應援團の熱狂その極に達する時併盗して二、三壘による滿塁の昂奮續く佐武三振水とのスクヰーズ見誤つて岡崎遂に本三間に挾殺され清水二壘ゴロで入らず兩軍の應援團こゝに再び總立となる (兩軍ゼロ)

八回 (慶熙)岩城四球に敬遠せられて重田の二壘安打に岩田一擧に三進、ボール走者を追ふまに重田二壘を導ふ關の一壘ゴロで岩城本、三間に挾殺されたが重田、關そのまに二、三進高橋の遊擊ゴロで重田本壘寸效にさゝれ關三壘に達す、高橋一壘と併盗を企たが關走壘を誤り高橋一、二間に挾殺されて入らず▲(遞信)ピンチヒッター小林三振、宮本三振淺野三壘ゴロに終つてラストイニングに入る

九回 (慶熙)三者凡退▲(遞信)平島四球を得たが二木投手飛球、岡崎一—三のゝち三振田中遊擊飛球に入らず遞信の雪辱遂に成らずして二對一で慶熙勝つ閉戰六時五十分

慶熙(先)	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死球	失策	補殺	刺殺
(中)鈴木	4	0	1	0	1	2	0	0	0	1
(三)土谷	3	1	0	0	0	1	1	1	1	1
(二)岩城	3	0	3	0	1	0	1	0	2	3
(捕)重田	3	0	1	0	1	0	1	1	3	11
(一)關	4	0	0	0	0	1	0	0	0	6
(投)高橋	4	0	0	0	0	2	0	0	3	1
(右)坂本	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0
(遊)松村	4	0	0	0	0	1	0	3	2	4
(左)鈴木弟	4	1	1	0	1	2	0	0	0	0
計	33	2	7	0	4	10	3	5	11	27

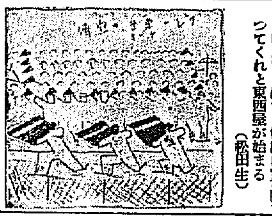
遞信	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死球	失策	補殺	刺殺
(遊)淺野	4	0	0	0	0	0	0	0	4	2
(一)平島	2	0	2	1	0	0	0	0	2	7
(捕)二木	3	0	0	1	0	1	0	0	1	11
(右投)岡崎	4	0	0	0	1	1	0	0	1	0
(左)前原	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1
(左)田中	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
(二)佐武	3	0	1	0	0	2	0	0	2	2
(中)清水	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2
(投右)金田	2	0	0	0	0	2	0	0	1	1
(右)小林	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(三)宮本	3	0	0	0	0	1	0	1	1	1
計	28	1	4	2	1	11	1	1	18	27

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
遞	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
慶	1	0	0	0	1	0	0	0	0(九)	2

備考 試合時間二時間卅分 二壘打前原、平島、暴投岡崎、捕逸重田 併殺松村—岩城、重田—松村

戰績 遞信の不運は遂に四度のチャンスを逸して二對一で慶熙に祈した▲卽ち二回、四回五回、の三度に無死にして二壘を奪ひ一死にして三壘を奪かすの機をロストし、七回に無死にして走者二三壘による好機をも失つた。▲遞信にしてみればこれに際して佐武君にバントさせなかつたが、もし佐武君が當る外打順が下位になつたからといふならば、理由づけられるかもしれないが、併し、無死のこのチャンスにバントを採用せなかつたことは、當を得なかつたのではあるまいが、そのバントも三壘側に呈するのを妥當としよう。▲もしこゝにそのバントあれば或は此ゲームは逆轉したかも知れぬ▲要するに勝運がなかつたといふのが本當の所かも知れぬ▲併乍らこのチャンスに與へなかつた慶熙の策も甘味たつぷりだつたことをわれらは賞する▲卽ち佐武三振後岡崎と淸水とのスクヰーズを看破して投じたウエスト一個は正にウイニングショットの感があつた。そしていかなるピンチにあつても大膽な投球をする高橋に讚辭を呈しよう。▲慶熙は高橋、重田のバッテリー何れも牽制球に長じてゐることは此日のチームの中第一と稱してい▲兩チームの投手を一言に評すれば高橋は常にカウントを打者にアヘッドしてゐたが遞信は逆にいつた。岡崎の近來ない好調も此點いさゝか弱味をもつものといつてもよからう▲慶熙は今年の大會に於て又もピンチに際しての自信を强めてゐるが▲八回のチャンスを企てゝ二死後高橋が關と併盗を企て關好走しなかつたことはサインが徹底しなかつた缺だが補缺も注意すべきチームワークであらう▲今にしても泣いても容易に墨內を表れなかつた遞信は悔いてもくゝ慨しきわみであり、あきらめられぬものだつたらう、深く同情して來年の健鬪を祈つて止まぬ

フレーケーキ



三壘側のスタンドから御贔屓の通り、フレーケーキフレーケーキと叫んで一點でも餘計に取(勝)つてくれと東西昆が始まる(松田生)

敵の爲に涙あり
慶熙の近藤監督語る

遞信軍との對戰に辛くも勝利を得た慶熙倶樂部近藤監督はさかんな喝采を浴びつゝ語る

我軍がかつさとはいへ非常な苦戰でした、遞信軍は終始攻守ともよく努めチャンスを七回までも捉へたのでしたが惜しい哉に頭に頭にかまれず賊に頭の跡でした。しかし我軍もたびたびそれに劣らない好機を作つたもの、遂に點をなさず實に殘念でしたがもしそのチャンスさへうまくとらへてゐたらもつと得點をしてゐたはずです。戰は時の運とはいひながら遞信軍の心情を思へば同情せずにはゐられません

4—1
咸興敗退
新興の新義州
つひに名を成す

夕刊つゞき

四回 (新義州)井上中堅前安打につゞいたが二盗を誤り久家、神崎凡退▲(咸興)三者凡退(兩軍ゼロ)

五回 (新義州)一死後中川遊擊ゴロ失に生きて捕手逸球に二進角三振後藤田の左翼飛球を野手見當を誤り二壘打にして中川生還又も捕手逸球に藤田三進後、田中の二壘安打に生還松村の三壘ゴロに代る▲(咸興)三者空しく退く(新二、咸ゼロ)

六回 (新義州)一死後久家遊擊飛球落球に生きて二盗したが後援なし▲(咸興)一死後中田右翼オーバー二壘打に出て投手暴投に三進、捕手逸球に生還、漸く一點をかへす、柳樂、松三振(新ゼロ、咸一)

七回 (新義州)一死後角三振不死に長驅二壘を導ひまたも捕手逸球に三進藤田とのスクヰーズを誤まつて挾殺され藤田の三壘ゴロに終る▲(咸興)一死後王二壘越安打に出て王遊擊のテキサスにつゞき滿壘の昂奮を呼んで吉中の捕手前ゴロに走者二、三進したが次打者、高潮打氣になつて遂に振らされてしまひ入らず(兩軍ゼロ)

八回 (新義州)一死後松村四球に出たが井上三振、松村投手牽制球にさゝる▲(咸興)三者凡退(兩軍ゼロ)

九回 (新義州)一死後神崎二—三後四球を貰つたが後援なし▲(咸興)三者凡退して四對一で新義州初陣の功を冊す閉戰三時八分

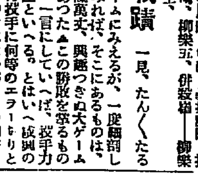
新義州(先)	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死球	失策	補殺	刺殺
(遊)中川	4	2	0	0	0	1	1	1	1	1
(三)角	2	0	0	1	0	1	1	2	0	1
(投)藤田	3	1	1	0	0	0	1	0	1	0
(右)田中	3	0	1	0	0	2	1	0	0	0
(一)松村	3	0	0	0	0	1	0	0	1	6
(左)井上	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1
(二)久家	3	0	0	1	1	1	0	0	0	4
(捕)神崎	3	0	0	0	1	1	1	0	1	14
(中)高田	3	0	0	1	0	3	0	0	0	0

咸興	打數	得點	安打	犧打	盗壘	三振	四死球	失策	補殺	刺殺
(中)中田	4	1	1	0	0	1	0	0	0	1
(捕)柳樂	4	0	0	0	0	1	2	0	3	10
(左)樂	4	0	0	0	0	0	2	0	0	2
(遊)松	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2
(右)平	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
(三)王	3	0	1	0	0	1	0	0	2	5
(二)吉中	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1
(一)高潮	2	0	0	0	0	0	2	1	1	6
(投)中村	3	0	0	0	0	1	0	0	3	0
計	31	1	3	0	1	10	1	3	9	27

備考 試合時間一時間五十八分 二壘打藤田、中田、暴投藤田、捕逸神崎、柳樂五、併殺松—王、

戰績 一見、たんくたるゲームにみえるが、一度細觀してみれば、そこにあるものは、波瀾萬丈、興趣つきぬ大ゲームであつた▲この勝敗を決するものは、一言にしていへば、投手力の差といへる。とはいへ咸興の中村投手に何等のエラーありといふのではないが、その前半の投球が餘りにも素直にすぎたとみうけられた。中村が後半しきりに活躍して殊にそのオーバースローでアウトコーナーから鋭く、ん中に投ける球は、閒るきゝ新義州をして持ちあぐましめたが、いかんせん前半に奪はれたスコアが大きすぎた▲それに反して新義州の藤田投手は前半インコーナーからうねり込む球と外角でドロップする球とを使分けて咸興の健棒を牛耳つた。併し後半の藤田は生彩充分とはいへなかつたとみるのが妥當だらう。もし藤田が前半の調子を終りまでつゞけたら恐らくノーヒット、ノーランの記錄を作り得たかもしれぬ▲とはいへ、咸興は過去三度の出場に比して割目してみなければならぬ活躍ぶりをみせた、健鬪賞すべきである

算盤ファン



咸興軍三振を十回、ファンの一人『三振十ペンあるは當然』と『何故』と聞へば言下に『されば三進の一十と言ふ山』と(松田生)

新義州勝戰一評
鈴島增雄

◇戰前の豫想としては新義州大、咸興四と見た卽ち新義の投手藤田君はかつて朝鮮に名のあつた當時からウイニング、ショツトとしてアウト、カーブ、アウドロを持合せて而かも之れを巧みに配用するだけの頭の働をもつてゐる一方中村君は左腕投手としてインドロに捷球を持ち外角を狙ふ球に又捨て難い好いゝ所を持合せているが、其の日、其の時の調子に依つて格段の差違を生ずる例を幾多目げきして居る、けれまだ洗練された投手と云ひ難い、更に兩軍の打擊に就て見るに新義州に一日の長がある、此の見地からして此の一戰は技術の當然の結果であらう

◇第一回新義州中川君の一點は走者として彼の果斷に依るものであるが一つの捕手逸球によつてウイン、ファスト。インニングの好條件をゝむざく許した事は捕手としてつかみ得ない球でも無かつただけに惜しい

◇咸興中田君が第一球をセーフチーバントに出たのは珍らしいプレーでセオリーを度外したものであるが三壘の薄いのを看破したあの場合の策としては賞讚に値するものとして稱すべきである

◇第二回に新義州井上君の四球と敵失を巧みに利して藤田君のスクヰズで一點を加へたあたりはまづ定まりきつたあのピンチに處して何とか施すべき策がなかつたらうか

◇第五回新義州二死後藤田君の遊撃失に機を捉へて中川君の安打で容々二點を得た打擊振は流石に兩軍の主砲である

◇第七回新義州藤田君のスクヰズに出たのが因でこの場合ヒッテングに出るのがあの場合あらふ咸興中王兩君が藤田安打して二死後ではあつたが走者二三壘に據つたあの場合高潮君がスクヰーズバントを敢つて入らなかつた事は何としても腑に落ちない

◇前の調子の盛はない四回咸興一點强で攻め立て四球過多に導入りて漸く一打者を一壘に送つた中村君は餘りに鈍にすぎた形だつたが殆ど殘五つ乃至四つの四球に據つてドロップを混ぜて相當に打者を苦しめた事は確か事であるが捕手の不振と共に敗因の一つである

◇兩軍共捕手の動作がニブイ故にファンブルやパスボールに驚してマスクを取つて手から離さない事は本人は氣付かないだらうが競鬪力をニブラス事しいから直に改むべきである

駿英七强を殘し
期待さるゝ第二日
ファン興奮を唆らん
けふの好ゲーム

けふの【二十七日】プログラム	
◇大邱對平壤	【午前十時】
◇新義州對木浦	【午後一時】
◇釜山對京電	【午後四時】

全鮮の十强も壯烈なる接戰を演じて第一日に退くもの三。殘る七强は第二日廿七日になほ第二の關にその覇英を爭はうとしてゐる。けふ再び午前十時から京城運動場はボールファンの

昂奮 を喚らんとしてゐる

この日の勝頭を承はるものは健鬪大邱に砂をつかませて堂々勝ち殘る大邱軍と不敗一戰の幸運をひきあてゝ戰備をさく怠りない初陣の平壤日鐵軍との對戰である平壤はまことに初陣である、しかしながらその無星的出現の後には、きくも涙の悲壯な練習がある。その健鬪は大邱の好守を初戰の血祭りにあげんと、きたへにきたへてある。しかしながら大邱ははちきれる元氣さと老巧とで水ももらさぬ大櫻、高宮らに統率されて一點の批評を加ふる餘地がない。のみならず第一日からの余勢があるそのたくひなきシーソーゲームは全く想像あるに難くない。つゞいて行はれる新義州對木浦もそのゲームのクロッスは、蓋し

讃嘆 の熊を放つであらうと思はれるわけがある。卽ち新義州は大邱と同じく第一回戰にオール咸興を屠つて意氣頗る上がつておるし不敗一戰ながらオール木浦は多年の研磨よくとげて新義州と同じく猛練習の跡りを十分にほこらんとしてゐる新興の雄である、お互ひに意氣たかまり、お互ひに猛練習の跡をみせやうとしてゐる、こゝに深く興味の湧きはじまる

この日のラストをうけたまはるはいふまでもない、しかも新義州が藤田をプレートに送れば、木浦また名手木村をマウンドに出して雌雄を決しやうとする、攻撃においても、精緻なるにおいて、投手力において、そうしてまた攻擊力の强さにおいて全く相伯仲する

兩軍 がこゝに壯絕なるクロスゲームを行ふといふことは想像して難ひなく、ファンの心を心ゆくまでエキサイトすることは當然であらねばならぬしかしていであらう

この日のラストをうけたまはるは堂々の陣をしいて一擧に全鮮の覇權をねらふ中央代表京電と、南鮮にきこえある南鮮代表釜山鐵道の對戰である。釜山鐵道が豐富なる投手陣を用ゐて縱橫無盡にメイアンドを蹴躍する時、京電の鐵壁堅塁していかに破めうるかこれこそ正に好守兩隊の大激戰で興趣と興味しのぎをけづることファンの心をけづるばかりに昂奮の

渦に 捲き込まねばおかないであらう

吳佩孚氏起つか
反馮運動勢を得
馮玉祥氏歸北の原因

「上海廿六日發聯合」某要人の談によれば馮玉祥氏が急遽河南に歸つた主因は吳新田氏などの反馮運動が山東の張宗昌氏一派とも連絡を通じて居ることが發見されたのと、四川に閉ぢ籠つてゐる吳佩孚氏が最近活動しはじめ之れ等の反馮派と連絡せんとしてゐるとの說があるので、馮氏は廿四日夕開封に歸る筈で、馮氏とも蔣氏の上海に來り五一と鬪へることゝしたもので、遽かに握手したと傳へられてゐる

侮り難き反馮勢力
范、吳兩軍呼應して

「北京廿五日發聯合」馮玉祥氏に叛して陝西方面から陝西侵入を企てた范軍の主力は陝州に向け進軍中で、陝西の吳新田軍と相呼應してその勢力あなどり難く、ために馮軍の一部隊は洛陽に歸つた馮玉祥は軍政部長に對し總進撃令を下したので總司令に推舉しつゝあるも、馮氏に對し南京政府の態度如何である

大會畫報(上より)場を埋めた大觀衆、慶熙軍の應援團、二回裏遞信前原生還同點となる遞信軍の作戰 新義州對一回の裏で咸興の中田本壘をついて憤死

第一日の戰蹟をみる

氣持ちの好い兩チーム

遞信對慶熙

石井順一

◇第一回遞信一死走者三壘に在る好機に惠まれたとき、打者强襲に飛てた、併し與みな併殺となり、スコーアを無にすべき第一のチャンスを失した、これは三壘の走者に重大な責任がある。走者は餘りに壘から離れ過ぎた結果で他の壘と異り三壘は如何に多くの離壘をする共安打がスクヰズでなければ事が出來ないので投手の投球動作と同時にスタートすべきものでなく、或る程度まで動作を見透して後、離れて打者のなすを待つべしである。

◇遞信は第五回無死走者二壘に在つた時金田にバントさせずして打ち氣に出て無闇に躁つたのは互の得點が現れる場合と判斷したのか五回にもなればこのゲームは壘打數によつて開くか、こゝに判斷すべきはずである。打つならばせめて内野にゴロを打つだけの自信がなければならぬ。此頭の責否がゲームに至大なる結果を齎らしはしないかと感じられた。

◇八回遞信守る時、無死、走者二三壘の危機に際してスクヰズプレーを與那に除け得て一死を獲得して捕手近藤が、ゴロを與那に處理して本壘にアウトを取り二死としたのは、腕から出た智技と云ふべく、この邊が熱心な應援の賜だと見受けられた

◇九回遞信に再びチャンスが役かつた。無死走者一壘に置き、再び打ち氣に出て凡飛球を打揚げたのは遇だ拙劣な策で、ストインニングなればこそ、點差が一點なればこそ、今度こそは前回と策戰を代へてバントして走者を二壘に送るべきで、次の四番、五番の當りを希ふべき策が遞も確實性のあるものだと思ふ。

◇高橋金田兩投手を比較してみるに遞ひにその活ずべき球の速は同じであつた、それはインシユートする近い球とアウトサイドをかすめるカーヴの決め球とである。金田君のカーヴは大きいだけに有效で高橋君の球はドロップが强く、かゝつてゐただけの選びである。この戰法で投手が近い球を投ずるときは總め内野殊に遊撃、三壘に知らして置き、これをやらなかつた爲めきで、三壘に近接つて守備すべき遞信は五回二壘に走者を置いて三壘前に當りの惡い安打をされて大事の二點を獲られた

◇兩チーム共に見るから氣持のよい態度を持してゲームを白熱と云ふよりも、むしろ匠に熟のこもつたものとして極度に愼重になりずり〳〵と試合を進めて行つた。觀者に感をたて、肢がせる豫想も與へなかつた。沈默の戰眼に對し兩軍に絶大の敬意を表す

遞信好機に惠まれず

諸岡源吉

是非勝たねばならぬ遞信と今回まで勝ちたいと云ふ氣持ちの慶熙の氣分には幾分ユトリがあつて先づ最初に捕手の三壘暴投に一點を先取した。二回目遞信も同じ樣な一點をもらつたが是非勝たねばならぬといふ幾分アセリ氣味は最後まで見せず、四回目一死走者一・三の好機にスクヰーズを企いで裏をかゝれ、五回第一打者[illegible]の二壘打を犧打で三壘に送り[illegible]

一死二一三走者の時前二回三振して居る淸水に小林を代打させたかつた、慶熙にも八回無死二一三走者の好機に正攻法に出なかつたのは結果において勝つて居るのでゲームに關係なく濟んだが一點を爭す事に努力ずべきであつた、それにしても慶熙は度々襲ふ危機を好守して脫し、しかも五回の一寸した機會を利用して一點を增してゲームを決定した、五回目鈴木弟の代走松村の二盜け千金の價あるもので、たいして確定でもない松村に二盜された遞信は岩城の三壘强襲後逸で一點を失ひ慶熙は貴重の一點を增した、この日金田高橋兩投手は內角をシユートする直球と外角を切り落す曲球を混投して打者を凡打させ、金田投手はタマに投ずるベースの眞中に曲り込むストライクを打たれて代つたが高橋君は最後までこれで中耳つて居た、要するに遞信は勝ち得べきゲームをアセツてロストン、慶熙は好守して勝つたと云へる

聲に集中する

烈々たる朝日を浴びながらメーンスタンドの眞ッ只中にプロペラー髯の紳士が、夫人は言はずもがな、既望に子供さんといふ大勢を引き具して觀方を見詰めて時々スコアブックにペンを動かしてゐる。ボールファンには先刻お馴染の末松李王職(弟)さんだが、今年はどうしたものかひげにおいては一幅對の兄さんの姿が見えぬのでいさゝか物足らぬ。しかし選手がファインプレーを出すごとにプラペラー髯が波をうつので附近の子供たちはボールの行方よりも髯のうごきに視線を集中する無邪氣ず。

一を惜んで數點を與ふる者

大邱對大田戰

石井順一

◇大田はバッテリーのみのチームの觀があつた。相當のバックを持たせたなら田中投手は得意のアウトコーナーを外れる曲球で昔日の如く健鬪したに違ひない

◇大邱は一回敵の凡失を利して易々と三點を先取して、田中投手を苦境に陷れた

◇二回大田は荻山君の三壘打、山本君の二壘打、と二つの短打とによつて三點を得てスコーアを對にしたが、大邱側の混亂は甚だしく、もつと愼重に攻めたならば一、二點は加へられたことであらう

◇四回代つた大邱の二瓶投手はインシユートのする球を上手に內外に通して救助の實を果してゐた。ボールの握り方を更に研究してインシユートの球で落ち氣味のボールを獲得したならば持前のインシユートをモット有效に使ふことが出來得ると期待する

◇大田の佐々木二壘手は常に甚だしく一壘側に據つて守備してゐた。これは變形ではあるが非常に效果を得て頗る多くの球を拗み得たは賢明な策であつた。

◇大邱の大櫻捕手は大負傷したにも拘らず、なほ元氣で勝を終始したは敬服せざるを得ない。こんな元氣は本場のアメリカには絶對にないもので、見せてやり度いやうな武士道的の節を感じた。然し袖の付いたアンダーシャツを着ないでプレーしたことは不用意と云はなければならない

◇大會氣分の試合では守るに當つて一點を惜んだ爲めに數點を與へて仕舞ふことが往々あるとの試合の如き得點の荒れたゲームには尙更一時も早くアウトの數を殖やすべく努めなければならぬ、八回大田が守るに當つて無死滿壘に藤田遊擊手工藤君の打つた三壘手の球をよく捕へて本壘に投じて無事に飾つた。これはむしろ三壘に投じ併殺するが普通できずれば決に出づた藤田三壘手の併殺は一層光つたものとなつたであらう

古き大邱と新らしき大田

高橋慶太郎

大邱チームは古强者、新興チームの大田鐵道との試合は興味を以て觀られた、併し坂戸、森川を失つた大邱は昔日の强味を誇ることは出來なかつた、高宮、大櫻でバッテリーをかためても往年の面影を見るばかりで、四回までに大田に六點を許して高宮退き若冠二瓶代でプレートに立つたが荒翔りながらコントロール好く大田の打擊を封じた其間大櫻走者の際左手を負傷したるも大元氣にて最後まで攻守共善く鬪つたのは痛快であつた。七回まで二點をリードされた大邱も八回に至り二壘打二つに四死球三と敵失を利して一擧四點を加へて勝を制して、辛うじて大邱の古き歷史の名を傷くることをまぬかれた

大田鐵道は四回までに高宮の球を好く打ち五本の安打にて六點を先取したが、後半は意氣銷沈二瓶の球を打ちあぐみ田中[illegible]は七回までは殆ど好調であつたが八回に至り俄然亂れて四點を與へ挽復すべからざるハメとなつた

野次豹變

第五回の危機に臨んで遞信軍が投手を、金田君に代ふるに岡崎君をもつてしたらファンの中に聲あり『暑へらやいかん暑へるなく〳〵』閉るに岡崎君がプレートに立つて一度牽球を投ずるや三振をつゞけざまに三人打ちとつた、ファン曰く『暑へるならもつと早く暑へればよかつたに――とてもすごいぞ……』

大會後日の面白味

新義州に期待す

石井順一

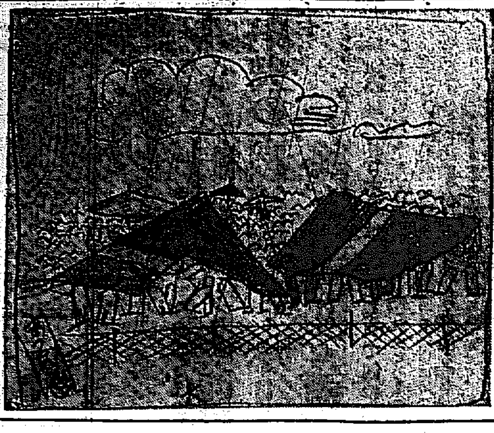
◇第一回新義州第一打者中川君は第一球を三壘にバントして相手方に失策の機を作らしめた。機を見た試みとして採る

◇新義州藤田投手はコントロール自在にそのアウドロはウインヴショットとしてプレトの內外を過ぎ守備を一身に引受けて居つた。大田の田中投手たほれて後のダークホース投手として藤田君の殘つたことは大會興味から見て喜ぶべきで、斯の如き優秀なる投手を控へ、且つその守備が普通の球を守り得る野手を持つチームは、優勝候補と目せらるゝチームを往々困らせることがある。この意味で新義州の殘つたことは大會後日の面白味を加へたものと思ふ。」

◇咸興中村投手は前半カーヴのコントロール定まらず、その直球は左投手特有の球にシナイなく素直であり過ぎた。然し六回から段々カーヴのコントロールを得てこれの有效なるを智り、よい調子で投げ續け、相手方をして入れしめなかつたが時機遲かつたの憾みがある

別莊地帶の一對

入場式の前から外野のグリーンの上に居た一組の夫婦、こゝ許りは別莊地帶とゆう〳〵と構へてゐたが、この安全地帶を知つたブワン幾々やつて來て一つの村が出來る。



崇達の赤テント

二回目に入る時に[illegible]らしいのか兩軍、メーンスタンドに見えて[illegible]ふ人、座席を冠る人、其の中に慶應の運動會大旅隊を冠つて雨除けにする、ノビレ少將の赤テントもかくありしか

移輸出入小包

京城郵便局の取扱

京城郵便局において取扱つた七月中における移輸出入小包郵便物は移輸出にあつては千八百五十七個その價格は卅四萬五千六百卅七圓で、又移輸入にあつては二萬六千九百七十八個その價格は卅八萬四千三百卅二圓である之れを前年同期と比較すると移輸出小包は個數四百六十個を減じ包有品價格は十五萬七千五百卅圓を增して居る、移輸入小包は個數千九百八十五個を增し包有品價格は百九十六萬三千四百七十圓の激減を示して居る

第六師團歸還部隊集合

先發部隊青島着

【青島二十六日發聯合】歸還を命ぜられた濟南派遣の第六師團の各部の集合はいよ〳〵二十六日より開始され、二十五日濟南を出發せる砲兵第二大隊四中隊兵百三十四名、馬匹百五頭および砲四門、輜重兵中隊および工兵隊兵百九十三名馬四百九十三頭、砲四門は二ケ列車で二十六日青島に着、官民の盛大なる歡迎を受け、宿舍に入つた

先づ第一に地盤を固める

小選擧區制其他に備ふべく

民政黨の手廻し

【東京電話】民政黨では床次氏の脫黨問題が大體一段落とはいふものゝなほ手強き今後活動もあり、一方議會を前にして政府の顛覆し相當猛烈に行はるべきを豫期しこれがためには現在の各地方支部の組織等にも多大の改善を加へる必要がある、との意見有力で、取敢ず地方の情勢を調査する要あり近く幹部級を各地に派して調査すると共に地盤かために努むることになるであらう

防禦として結束を堅めることに苦心してゐるが、今回の脫黨者の事情等に照して見ても民政黨としての地盤を强固にすることが最良の方法であるといふに意見一致した譯である、これと同時に床次氏が小選擧區制を唱へ政友又これに贊同してゐるから民政黨としては勿論これに反對ではあるがその實現すべきことをも豫期せねばならず、その場合において確實なる勝利をうるだけの地盤を今日より充分に準備して置くことが必要である

鐵道荷動き

八月中旬における鐵道局線貨物發送總數量は九萬四千六百五十四噸にして前旬に比し九千百噸の減、前年同期に比し九千七百噸の增加を見た、なほ前旬に比し減退したのは粟、大豆、木材、同用品等で、籾は支那粟輸入が激增して出廻り不振であつたのと木材は出廻れ同用品は大體一段したためである

御大典に備ふる

直通電話の施設

京都、京城間に臨時に

今秋御大典に際しては各地あて官報新聞通信等一時に輻輳するので遞信局では內地遞信省と協議して現在の京城東京、一、二番線の內一回線を京都にて打切り京城京都直通線を臨時施設して京城東京間電信線、京城東京間無線及び京城東京、大阪間短波無線の活動とまつて大典電報の迅速確實に遺漏なきを期することゝなつた

夕刊一面連載

妖鬼流血錄

作 長谷川伸 木村哲二　畫 伊藤幾久造

一中兩日に掲載

夕刊第一面に大衆作家の傑作を連載するは近代大新聞の一般風潮である。本紙はこゝに鑑みるところあり、かねて種々なる大衆作品を連載し來つたが、新くその連載の杜切れたのを、新作中の傑作を物色して一新生面を開かんと苦心せる結果であつた。本紙はこれがため多大の犧牲を拂ひ、長谷川、木村兩氏に右大作の執筆並に伊藤畫伯に挿畫の揮毫を乞ひ得たるを幸甚に思ふ。右はいよ〳〵近日中より連載することゝなつたが、作家が作家、畫家が畫家たるだけ、職々掲載の御滿足をうることを確信してゐます」

× × × ×

作者長谷川伸氏は、大衆作家中の白眉で、最も異色あり、かつ最も將來ある作家の一人たることは、その作品、作風について餘りに知れわたつた事實である。木村哲二氏は、長谷川伸氏の令弟で、さきに東京日日新聞に力作『緋鹿子鳥』を連載するや、一躍新進の新人として大いに好評を博し、『サンデー每日』の懸賞大衆小說にも一等に推された。氏はすでに一流作家として立つべき人ながら、不幸病魔のため不遇のうちにあつたが、近時小康をうると共に、こゝに長谷川氏と共に筆を執り、腕を新たにして、兩氏合作の一大力作を發表することゝなつたのである。

挿畫執筆者伊藤幾久造畫伯は、新進の新人として、報知新聞『[illegible]』の挿畫は、當時新進にセンセイションを捲き起した名匠であつて、今度本紙のために特に渾身の筆を揮はるゝのである。」